

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科 1 年	単 位	19 単位
科目コード	科目名 服装造形 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：礒川 恭子

共同担当者：久保 つばさ・田中 亜祐美

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション業界をグローバルな視点からみつめる4年間のコース。アパレル各分野の発展を担うリーダーとなる人材の育成を目的としている。

1 年次では、アパレル全般を理解するため総合的に学び、レディスを中心とした服飾全般の基礎知識と技術を習得する為に、縫製技術の基礎から綿素材のスカート、ブラウス、裏付きのウール素材のスカート、ジャケット、ワンピースを製作する。

【授業計画】

服装造形 論	通年 4 単位
服装造形 デザイン	通年 4 単位
服装造形 パターンメイキング	通年 2 単位
服装造形 ソーイング	通年 9 単位

1、基礎	10コマ(前期)	一般知識・縫合の基礎(部分縫い)
2、スカートⅠ	27コマ(前期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
3、作図の基礎・体型研究	30コマ(前期)	作図の基礎・トフル制作・試着補正・レポート
4、シャツブラウス	39コマ(前期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
5、スカートⅡ	35コマ(後期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
6、ジャケット	69コマ(後期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
7、ワンピースドレス	69コマ(後期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート

授業の特徴と担当教員紹介

文化服装学院専任講師による示範説明・点検を受けながら各自オリジナルデザインの衣服を製作
衣服の基本構造を理解する

【評価方法】 S, A, B, C 評価

- ・服装造形論・・・試験評価 100% ・パターンメイキング・・・実物パターン, レポート他・・・80% 学業姿勢, 出欠席 20%
- ・デザイン、ソーイング・・・製作物80% 学業姿勢, 出欠席20%

主要教材図書 服飾造形講座

(服飾造形の基礎、スカート・パンツ、ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、メンズウェアⅠ)

参考図書 誌上・パターン塾(トップ編、スカート編) 装苑

その他資料 科作成のプリント

記載者氏名 礒川 恭子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科1年1～3組	単 位	1単位
科目コード 1005600	科目名 量産技術概論・実習	授業期間	通年（集中）

担当教員(代表)：成田 邦子	共同担当者：高橋 紗希、宗 昇和
----------------	------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

工業用ミシン、アイロンを主とした生産機器の安全な使用方法の基礎を習得し、アパレル製品の生産について、関心を持たせる事を目的とする。
前期は、量産的手法に基づいたシャツの縫製実習を短期集中で行い、後期は講義において、実習での作業内容と通常授業における一品作りとの違いについて認識させる。

【授業計画】

- I. 縫製準備・・・縫製前の裁断実習と縫製機器の基本操作（1コマ）
 - 1 延反
 - 2 自動裁断機(CAM)による裁断
 - 3 シャツ芯貼り
 - 4 表裏判別シール貼り
 - 5 個人仕分け
- II. 基礎練習・・・縫製機器(ミシン・アイロン)の基本操作とシャツ縫製準備（2コマ）
 - 1 工業用ミシンの基本操作
 - 2 基礎練習(工業用本縫いミシン、縁かがり縫いミシン、アイロン、バキュームボード)
 - 3 部分縫い(直線、曲線、縁かがりミシン)
- III. シャツの縫製実習（8コマ）
 - 1 部品工程（身頃づくり、衿づくり 等）
 - 2 組み立て工程（衿つけ、袖付け等）
 - 3 特殊ミシン（眠り穴かがりミシン、オートフィーダー付きボタン付けミシン）
- IV. アパレル産業の生産プロセス(1コマ)
アパレル生産における仕事の流れについて講義
- V. 特殊機器見学（1コマ）
工業生産機器の名称や役割について理解を深める

【評価方法】

出席状況、提出物によるP評価

主要教材図書

「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書

なし

その他資料

「シャツ生産指示書」

授業の特徴と担当教員紹介

工業生産機器が充実している生産管理実習室にて、ミシン、アイロン、特殊機器の使用方法をシャツ縫製実習を通して習得しました、アパレル産業の生産プロセスの基礎を学ぶ。

担当教員紹介 文化服装学院 専任教授／文化服装学院 助手

記載者氏名 成田 邦子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門科 1年	単 位	2単位
科目コード	科目名 自由研究 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：礒川 恭子	共同担当者： 久保 つばさ・田中 亜祐美
----------------	----------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

発想力・想像力を養うため自分磨き・スキルアップを実施する。
自由にテーマを決めて作品を制作し発表する。

【授業計画】

前期) 自分磨き・スキルアップの一環として、校外授業や美術館見学を実施する

後期) 1年間の総まとめとして、各自が自由にテーマを設定し作品を制作
プレゼンテーション発表を実施する

【評価方法】

P評価
出欠席・作品・プレゼンテーションにて評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 各自テーマに沿って計画立案し、プレゼンテーション形式で発表する。
文化服装学院専任講師

記載者氏名 礒川 恭子

科コード	科名	単位	単位
科目コード	科目名	授業期間	2 通年
	ファッション高度専門士科1年		
	ファッションデザイン画Ⅰ		

担当教員(代表)：	共同担当者：
水野雅己	

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服作りの流れの中でファッションデザイン画の目的と役割を理解し、人体を描くための基礎画力から衣服のシルエットに対する構造を理解した技能を習得。
着彩では、マーカー、色鉛筆の組み合わせで衣服の質感を具体的に表現するスキルを目指す。

【授業計画】

前期 1～9 (13 コマ)	1. オリエンテーション 年間授業内容説明 ----- 1コマ 鉛筆、線の練習
	2. 8 頭身プロポーション (正面・側面) ----- 1コマ
	3. ヌードポーズ (片脚重心 + 手・足の描き方) ----- 1コマ 宿題/顔のプロポーション(正面・横・斜め)
	4. 着装表現① スカート ----- 1コマ
	5. 着装表現② パンツスタイル ----- 1コマ
	6. 着装表現③ シャツブラウス ----- 1コマ
	7. マーカーの使い方(着色表現) 着色練習用ワークシート使用 ----- 3コマ 柄/ストライプ・チェック シャツブラウス・スカートスタイルに柄の入り方
	8. スタイル画 線画から着色の技能習得 ----- 2コマ
	9. アイテム図製品図 基本アイテム(トップス、ボトムス) ----- 2コマ
後期 10～13 (14 コマ)	10. 素材表現 ウール・レザーニット、、、着色練習用ワークシート使用 --- 4コマ カジュアルスタイルに素材表現を入したスタイル画を描く
	11. 着装表現④ ジャケットスタイル ----- 2コマ
	12. 着装表現⑤ コートタイル ----- 2コマ
	13. 修了制作 ファッション画(A3イラストボード) ----- 6コマ

【評価方法】

提出課題作品、学年末試験、出席状況、授業態度

授業の特徴と担当教員紹介 学生の能力を引き出すために、学生に寄り添う指導を目指すとして理解しやすい
デモンストレーションと提出物の丁寧な添削を行う。

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画

参考図書

その他資料 Fashion Drawing Basic

記載者氏名 水野雅己

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科1年	単 位	1単位
科目コード 500100	科目名 クロッキー	授業期間	(前期)

担当教員(代表)：柳澤 利光	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

様々なものの見方を通じ、描写の楽しさを再認識する事と合わせ、創造力を伸ばす為の観察力・イメージを見る側に伝える為の基本描写力・着装画の土台となる立体造形の描写力向上を目的とする。

【授業計画】

- 1、幾何形体の描写練習：着装人体の描写につながる幾何形体の描写練習。
- 2、速写をする：全体のシルエットを捉える。生きた動きを捉える。
- 3、小物を描く：観察からの描写。
- 4、頭部を描く：頭部の基本造形を理解。
- 5、脚・着装スカートを描く：脚の基本造形描写。着装スカートと腰・脚の関係確認。
- 6、クレヨンスクラッチ：意識と偶然の描写美の発見。
- 7、立体技法：明暗による立体把握。
- 8、①描写時の視点・気付き：創造につながる本質描写の理解と実習。
②着装シアーワンピースを描く：着装ワンピースと人体の自然な関係確認。
- 9、①胴体を描く：胴体を単純化した造形理解。
②腕・手を描く：腕・手を単純化した造形理解。
- 10、①無彩色技法：単色表現の可能性。
②球体関節人体を描く：人体のシンプルな立体描写と大きな関節を押さえる。
- 11、描写応用技法：限られた色数と画材による具象～抽象・色彩描写。
- 12、裸婦クロッキー：裸婦クロッキー実習。
- 13、自然物を描く：造形描写の再確認と質感描写。

【評価方法】

S～C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。

授業の特徴と担当教員紹介

実際にものを観察し手を動かして制作する中で、創造力・描写力を伸ばします。
担当教員はファインアートを主に制作しています。

記載者氏名 柳澤 利光

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科 1 年	単 位	2 単位
科目コード 400210	科目名 服飾デザイン論 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：三枝みさお	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通して基礎的な知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。
レベル設定：色彩の基礎知識や配色の基礎、形態の構成要素やデザイン展開、コンポジションのセオリーについて理解し、それぞれのテーマに沿ったビジュアル表現ができる力を有する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. デザイン概論 (1 コマ)〈講義〉

- ・デザインの定義、デザインジャンル
- ・服飾デザインの目的
- ・造形的視点、機能的視点

2. 色彩 (9 コマ)〈講義・演習〉

- ・色の三属性とトーン [カラーチャート作成]
- ・色の識別 [課題作成：色相別カラージュ]
- ・光と色、三原色と混色 [プリント演習]
- ・色の見え [プリント演習]
- ・色彩の感情効果 [プリント演習]
- ・色相を基準にした配色 [課題作成：カラーコーディネート]
- ・トーンを基準にした配色 [プリント演習]

3. 形態 (7 コマ)〈講義・演習〉

- ・形態の構成要素 [プリント演習]
- ・形態の感情効果 [プリント演習]
- ・シルエットの種類と特徴 [プリント演習]
- ・線とシルエットの分析 [プリント演習]
- ・線とシルエットの発想 [課題作成：直線/曲線]
- ・形態の見え方、イリュージョン [プリント演習]
- ・形態の展開 [課題作成：形態の展開]

4. テクスチャー (1 コマ)〈講義・演習〉

- ・視覚的触感 [プリント演習]

5. コンポジション (2 コマ)〈講義・演習〉

- ・ドミナント/セントラリティ [課題作成：コンポジション]
- ・シンメトリー/アシンメトリー [プリント演習]
- ・リズム(規則、不規則、グラデーション) [プリント演習]

6. イメージ (2 コマ)〈講義・演習〉

- ・イメージと言葉 [プリント演習]
- ・イメージのビジュアル表現 [課題作成：イメージ別カラージュ]

7. 服飾デザインの展開 (4 コマ)〈講義・演習〉

- ・発想法の種類 [プリント演習]
- ・発想法の活用 [プリント演習]
- ・デザイン発想 [課題作成：デザイン発想]

【評価方法】

S～C・F 評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座② 『服飾デザイン』 文化服装学院編 文化出版局発行

参考図書

その他資料 ベーシックカラー140 B5版、カラーチャート

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：講義と演習によって理論と感性を磨く

担当教員：文化服装学院専任教授

記載者氏名 三枝みさお

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 高度専門士科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 西洋服装史 I	授業期間	通年 ()

担当教員(代表) : 朝日 真	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

古代から近世 18 世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19 世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を解説する。20 世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッション史の理解を深める。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	1950年代のファッション(1)
2	博物館見学	17	1950年代のファッション(2)
3	古代の服飾	18	1960年代のファッション(1)
4	中世の服飾	19	1960年代のファッション(2)
5	ルネサンスの服飾	20	1960年代のファッション(3)
6	バロックの服飾	21	1970年代のファッション(1)
7	ロココの服飾	22	1970年代のファッション(2)
8	第一帝政、王政復古時代の服飾	23	1980年代のファッション(1)
9	第二帝政時代の服飾	24	1980年代のファッション(2)
10	第三共和制時代の服飾	25	1990年代のファッション(1)
11	アールヌーヴォー様式期の服飾	26	1990年代のファッション(2)
12	1910年代のファッション	27	
13	1920年代のファッション	28	
14	1930年代のファッション	29	
15	1940年代のファッション	30	

【評価方法】

前期レポート提出(30%)、学年末定期試験(20%)、出欠と授業態度(50%)

主要教材図書
文化ファッション大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生がデザイン発想するために役立つ授業展開を心がけている。メンズとストリートファッションを専門とする。

記載者氏名 朝日 真

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KA1	科 名	ファッション高度専門士科1年	単 位	2単位
科目コード		科目名	アパレル素材論Ⅰ	授業期間	通年

担当教員(代表)：野沢 彰	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】アパレル製品の主な材料であるテキスタイルとそれを構成する糸、繊維、またそれらに対する染色、仕上げ加工などに関する基礎知識について学ぶ。さらにキスタイル産業とアパレル企業の関連性などを理解できるよう指導する。

【授業計画】

繊維について（講義・実習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（11）

- ・天然繊維の種類、性質、成分、形状、生産国などについて
「植物繊維」「動物繊維」
- ・化学繊維の種類、性質、原材料、形状などについて
「再生繊維」「半合成繊維」「合成繊維」

糸について（講義・実習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（3）

- ・糸の構成要素と布地の関係
「種類」「撚り」「太さ」など
- ・特殊な糸について
「加工糸」「ファンシーヤーン」「ラメ・金属糸」など

布地について（講義・実習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（10）

＜織物とニット＞

- ・織物とニットの構造
- ・天然繊維からなる布地について
- ・化学繊維からなる布地について

＜その他の布地＞

- ・レース、皮革、不織布などについて

繊維の鑑別（実験）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（3）

- ・顕微鏡法、燃焼法、呈色法

【評価方法】

ペーパー試験1回（学年末）、レポート課題など学業評価80%、授業姿勢20% による総合評価

主要教材図書

文化ファッション大系 改訂版・服飾関連講座③「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書 「ワークブック・アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

授業の特徴と担当教員紹介

野沢彰：文化服装学院専任教授 当科目他「ウィービングデザイン演習」「テキスタイル産業論」などを担当

記載者氏名 野沢 彰

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科 名	ファッション高度専門士科1年	単 位	1 単位
科目コード	40410	科目名	服装解剖学 I	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：高見澤ふみ	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体（骨格）に関する基礎知識を学習させる。次に人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識させる。

【授業計画】テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション（講義内容の説明）	講義	1
人体の構成と衣服（人体の骨格・全身骨格）	講義	1
人体の構成と衣服（頭部）	講義	1
人体の構成と衣服（脊柱と衣服パターン）	講義	1
人体の構成と衣服（脊柱と衣服パターン・胸郭）	講義	1
人体の構成と衣服（乳房と前身頃）	講義	1
人体の構成と衣服（上肢帯）	講義	1
人体の構成と衣服（上肢帯と自由上肢骨）	講義	1
人体の構成と衣服（上肢帯と下肢帯の違い）	講義	1
人体の構成と衣服（下肢骨の運動とスカートの関係）	講義	1
人体の外観と衣服（人体の計測について）	講義	1
人体の外観と衣服（人体のプロポーション・体型を知る）	演習	2
障がい者衣料について（現状と研究活動）	講義	1

【評価方法】

学業評価：ノート提出…50%、確認テスト…20%、骨と原型についてのプリント…20% 授業姿勢：出欠状況…10%

主要教材図書 服装解剖学ノート（文化出版局）
参考図書 なし
その他資料 なし

授業の特徴：衣服を着用する土台となる人体の構造や機能を把握し、動きやすく着心地の良い服、体に合う衣服製作への応用を目指す。

担当教員紹介：文化女子大学（現文化学園大学）卒、文化・服装形態機能研究所副所長兼務
衣服製作に関わる計測などを専門とし、外部企業や他大学との共同研究やボディ・商品開発などを行う。2011年より障がい者衣料の研究を継続。NHK Eテレ「バリバラ」のバリアフリーファッションショーにも参加。（2015～17年）

記載者氏名 高見澤ふみ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 ファッションビジネス概論	授業期間	(後期)

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションとビジネス (1 コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係

II. ファッションビジネスの基礎知識 (2 コマ)

1. ファッションの範囲と流行の把握
2. ファッションの構成メンバー ファッションビジネスに求められる資質

III. ファッションビジネスの変遷 (3 コマ)

1. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1950 年ー1970 年
2. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1980 年ー現代
3. 現代のファッションキーワード～未来型ファッションビジネス思考

IV. ファッション産業の構造 (3 コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

V. ファッションビジネスの実務 (3 コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

VI. 計数知識 (1 コマ)

1. ファッションビジネスに必要な計数の基礎知識

※すべて講義

【評価方法】

試験 50% テキスト提出 30% 出席 20%

主要教材図書

参考図書 日経、織研新聞、繊維白書、WWDなど

その他資料 教材専用プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住 倫子

文化服装学院教務部

担当教員(代表)：中村 浩	共同担当者：
---------------	--------

グラフィック系ソフトの基本操作技術を習得し、日々の業務の中のデジタル化を意識させ、実践に繋げていく。

[illegible]

S～C・F評価 出席・提出物70% 授業姿勢30%

その他資料 なし

中村 浩 / 武蔵野美術大学卒 百貨店販促宣伝部を経て、グラフィックデザイン、WEB デザインを中心に活動

記載者氏名 中村 浩

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科 1 年	単 位	単位 1
科目コード 304010	科目名 服飾手芸 I	授業期間	半期（ 前期 ）

担当教員(代表)：白戸 薫	共同担当者：齊藤 美子
---------------	-------------

概要

服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして服飾造形及び服飾小物などに応用発展できるようにする。また、素材・テクニク・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> 手芸一般知識(0.5) 手芸の変遷や技術の種類などを理解させる レース表現 マクラメレース 基礎作品 1 点制作 (2) 結び表現のみで効果を出すマクラメレースの基礎テクニクを理解し、応用発展できるようにする レリーフ・ライク表現 ラティススモッキング 基礎刺し製作 1 点 (1) 布の縫い縮め方によって新しい表面効果を表現するテクニクを習得させる 装飾造形表現(平面) ブローチ製作 作品 1 点制作(2.5) キャンバスワークの技法を用い、くるみボタンの要領でブローチを製作するテクニクを習得させる 装飾造形表現(立体) コサージュ制作 作品 1 点制作(2.5) 様々な技法での布を生かしたコサージュの制作、各自制作した服に合うコサージュ作りのテクニクを習得させる 加飾美表現 エンブroidアリー・各種装飾技法 オリジナルバック制作 (6.5) 様々な手芸テクニクを用いてデザイン発想から色、素材の扱い方などを習得しオリジナルの装飾表現方法を理解、習得させる
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>S～C・F評価</p> <p>評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p>教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして服飾造形及び服飾小物などに応用発展できるようにする。また、素材・テクニク・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。</p>

<p>記載者氏名 白戸 薫</p>

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科1年	単位	1単位
科目コード	科目名 造形演習（自由選択）	授業期間	後期

担当教員(代表)：牧 かほり	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

発想－表現－コミュニケーション の3つを連動させながらクリエイションの力をつける。
特に自分自身を見つめ、掘り下げ、何を創り、何を発信していくのかに気付いていく時間です。そのための
様々な発想法を提示し、自分自身を開拓していくプロセスを大切にしています。
無心に手を動かし創作する時間、それを伝えるための言葉(コンセプト)を鍛える時間をバランスよく演習して
いきます

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

自分の名前(指名=使命)はミッションである!という考えを元に、自分の名前がタイトルの造形物を作り、平面構成、
コラージュ作品、再び立体作品へと展開

価値観カード:自分が何を大切な価値として生きているか、また創作しているかを可視化していくゲーム

右脳で描く:右脳を活性化するためには左脳を休ませること。逆さまに絵を描いたり、1ミリ1秒の視点の移動で、描い
ている手を見ないで表現していく、などの演習。

評価方法・対象・比重

提出物/A,B, C, F

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 牧 かほり

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 ファッション英会話 I	授業期間	後期

担当教員(代表)：三村 典召	共同担当者：増田 和香子 マヤ リルフォード
----------------	------------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】基本的な文法知識を復習し、日常生活について初歩的なアウトプットができるようにする。身の回りのことやファッションに関係するトピックを選び、それに関連した英語表現を学ぶ。
文法事項の復習と補充、ロール・プレイを通じた会話練習、聞き取り、英作文などを組み込んだ構成とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
Course description/Placement test	演習	1
Self-introduction	演習	1
The past tense	演習	1
The present tense and time expressions	演習	1
Making an appointment	演習	1
Likes /Dislikes	演習	1
Describing people (personalities)	演習	1
Describing Place (adjectives and prepositions)	演習	1
I'll show you how (Sequence connectors)	演習	1
Express your daily life (Frequency)	演習	1
Fashion items	演習	1
Fashion show	演習	1
The future tense	演習	1
Business emails	演習	1

【評価方法】
学業評価 (50%)、 授業姿勢 (50%)

主要教材図書 適宜プリントを配布する。

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 コミュニケーション力を養うため可能な限りペアワーク・グループワークの機会を設ける。

記載者氏名 三村 典召

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科 1年	単位	1単位
科目コード 947200	科目名 フランス語 I (選択)	授業期間	後期

担当教員(代表)：平野 佐和

共同担当者：Camille Griot

教育目標・レベル設定など

初めて学ぶフランス語の音と仕組みに母国語とは異なる面白さを感じられるよう、個々の興味を促し、発音練習を楽しむように講義を行う。「聴く、話す、読む、書く」を通じて基本文法を理解しながら、挨拶と自己紹介、平易な質疑応答が出来るレベルを目指す。映画や音楽、香り、ファッションなどの話題も紹介し、実際にフランス映画やフランス語の歌を鑑賞する機会も提供する。

コマ	内 容
1	Introduction au français ・Alphabet
2	フランス語の文字・挨拶・数字
3	日付の表現(曜日、月)・数字
4	動詞 être の活用・名詞の性と数
5	動詞 être と形容詞で人の様子を伝える
6	動詞 avoir ・不定冠詞と定冠詞
7	avoir で所有、存在、感覚を表現する
8	er 型規則動詞 の活用・疑問文
9	学んでいること、好きなものなどを伝える
10	不規則動詞 faire、prendre ・部分冠詞
11	動詞 faire, aller, venir の活用・表現
12	動詞 aller, venir で移動・状態等表現
13	フランス映画鑑賞
14	総復習・会話表現と質疑応答

評価方法・対象・比重

授業時に実施の小テスト 50%(Camille Griot)

授業時に実施の口述&聴き取りテストと筆記課題 50%(平野佐和)

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴

フランス人教員と日本人教員がそれぞれの特性を生かした方式を交互に提供することで、文法理解や口述表現力向上への相乗効果を目指す。フランス人教員による映画鑑賞や、日本人教員による香りや音楽等の文化紹介も行うことにより、初心者もフランス語を楽しみながら基礎から学べるように指導する。

担当教員紹介

Camille Griot

サンテティエンヌ出身。ポール・ヴァレリーモンペリエ大学文学部卒業。専攻は舞台芸術、映画、視聴覚。アライアンスフランセーズパリにて DAEFLE (外国語としてのフランス語を教える適性の卒業証書) 取得。映画、ビデオ等のイメージ音楽ミュージシャン、作曲家(フリーランス)。東京の公立高校、私立語学学校、企業や公共機関にてフランス語および英語の教師/インストラクターをつとめる。

平野 佐和

上智大学外国語学部フランス語学科卒。デザインコンサルティング会社にて企画担当、モード誌編集者、アロマセラピストを経て、ホテル併設アロマトリートメントサロン監修。フリーランスのプランナーとして香りの商品企画にも携わる。文化学園大学現代文化学部にて『ファッションとアロマ』講師 (2005～2014)。2010 年より文化服装学院にてフランス語講師。香りの専門誌『PARFUM』編集メンバー (～2023)。

科コード	KA1	科 名	ファッション高度専門士科 1 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	中国語 I (選択)	授業期間	()

担当教員(代表)：山本 優子	共同担当者：
----------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>授業概要：中国語の発音や基礎的な文法、中国語の会話を学習する。</p> <p>到達目標：中国語のピンイン（発音を表す記号）の読み書きを理解することができ、中国語の文法や単語を学び、簡単な中国語の会話ができるようになることを目標とする。</p> <p>レベル設定：中国語検定 準 4 級程度。</p>

<p>【授業計画】</p> <p>・ 発音練習 3 コマ 講義内容：中国や中国語に関する簡単な紹介。 声調・ピンイン、単母音・複合母音・鼻母音・子音などの練習。 声調の変化、変調などの練習。 簡単なあいさつなどの練習。 練習問題を解く。</p> <p>・ 基本文法・基本会話 4 コマ 講義内容：簡単な会話を通して人称代名詞、“是”を使う文、指示代名詞、疑問詞疑問文、副詞、量詞などの基本的な文法を学習する。小テストや練習問題を行う。</p> <p>・ 基本文法・基本会話 5 コマ 講義内容：簡単な会話を通して数字、日付・時刻を表す語、助動詞、介詞、反復疑問文などの基本的な文法を学習する。小テストや練習問題を行う。</p> <p>・ 簡単な自己紹介練習 2 コマ 講義内容：これまで学習したことのまとめとして簡単な自己紹介練習と発表を行う。</p>
--

【評価方法】 自己紹介の発表（50%）、練習問題の理解度（30%）、授業での積極的な発言など（20%）

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 なし

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>授業の特徴：中国語をゼロから学ぶ入門授業。中国語の発音や文法・単語を学び、中国語で簡単な会話ができるようになる。</p> <p>担当教員：中国現当代文学・修士。2020 年から現在まで日本大学文理学部中国語中国文化学科で助手として勤務。</p>

記載者氏名 山本 優子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科 1年	単位	1単位
科目コード 947200	科目名 コラボレーションa（自由選択）	授業期間	通年

担当教員（代表）：磯川 恭子	共同担当者：久保 つばさ・田中 亜祐美
----------------	---------------------

教育目標・レベル設定など

企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。
人と人との様々なつながりと調和が必要となるため柔軟な人間力、コミュニケーション能力を身につける。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- コラボレーション企画依頼があった際に、教育効果があるものに対し参加する。（14コマ）

評価方法・対象・比重

P評価

出欠、作品・商品製作及びレポート提出

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 磯川 恭子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 特別講義・キャリア開発 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：礒川 恭子

共同担当者： 久保 つばさ・田中 亜祐美

【授業概要、到達目標・レベル設定】

レギュラーカリキュラムに含まれない関連分野の専門知識を習得する。

アパレル産業の現状や先輩の実体験をアドバイスされることにより将来の方向性を決めていく。

【授業計画】

1、 充実した学生生活を送るために	1 コマ (前期)	学生生活支援室	小澤 佳世先生
2、 キャリア教育	2 コマ (前期)	文化服装学院非常勤講師	東條 文千代先生
3、 卒業生からのメッセージ	1 コマ (前期)	REBL ICHAL	手嶋 幸弘先生
4、 ブランドの仕事	1 コマ (前期)	(株)イッセイミヤケデザイナー	宮前 義之先生
5、 コレクション情報	1 コマ (前期)	WWDジャパン	
6、 トренд情報	1 コマ (後期)	織研新聞社	
7、 キャリア教育	4コマ (後期)	文化服装学院非常勤講師	森 薫子先生
8、 歌舞伎オリエンテーション	1 コマ (後期)	歌舞伎研究家	前川 文子先生
9、 きもの	1 コマ (後期)	文化服装学院 教授	縄田 宏美先生
10、 素材の一般知識			
11、 OEM・ODM生産の仕組み	1 コマ (後期)	株式会社ナカノアパレル	瀧田 将弘先生

授業の特徴と担当教員紹介

【評価方法】

P評価

学業姿勢, 出欠席 100%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 礒川 恭子

科コード KA	科名 ファッション高度専門士科 2 年	単 位	16
科目コード 001011 001012	科目名 アパレル造形論 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：中澤咲恵	共同担当者：道辻のぞみ 池端みゆき
---------------	-------------------

教育目標・レベル設定など

- ・ 1 年次に習得した基礎知識、技術をもとにアパレル造形として発展させ、トレンドを意識した商品としての価値観を加味しデザイン発想する。また、デザイン別・素材別のパターンと縫製技術を習得する。
- ・ 個に対する服作りから不特定多数の量産への意識付けと理論の展開を図り、縫製仕様・縫製方法を理解する。
- ・ ドレーピングの習得を通しバランス感覚を養い、立体感とデザイン発想を各自の作品に反映させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

アパレル造形論	通年 4 単位
アパレル造形演習 デザイン	通年 4 単位
アパレル造形演習 実技	通年 4 単位
アパレル造形演習 ドレーピング	通年 4 単位

1、一重パンツ (前期)	デザイン・パターン・実物製作・レポート【17 コマ】
2、総裏どんでんジャケット(前期)	デザイン・パターン・実物制作【37 コマ】
3、バザー作品 (前期)	デザイン・パターン・実物製作【13 コマ】
4、皮革作品 (後期)	デザイン・パターン・実物製作・レポート【54 コマ】
5、修了制作 (後期)	デザイン・パターン・実物製作・レポート【58 コマ】
6、ドレーピング I (前期)	胸ぐせダーツの応用・スカート・ブラウス・ジャケット【35 コマ】 (使用ボディ…文化ボディ)
7、ドレーピング II (後期)	ジャケット 2 型【35 コマ】 (使用ボディ…文化ボディ)

評価方法・対象・比重

- ・ アパレル造形論…理論試験、レポート
- ・ アパレル造形演習デザイン…課題提出作品、コーディネート着装
- ・ アパレル造形演習実技…課題提出作品
- ・ アパレル造形演習ドレーピング…実技試験、課題提出作品 ABC 評価

主要教材図書・・・文化出版局
ファッション大系…②スカート・パンツ ③ブラウス・ワンピース ④ジャケット・ベスト ⑤コート・ケープ
服飾造形講座 服飾造形応用編 I、II (特殊素材 高級素材)
立体的断(基礎編) 工業パターンメイキング

参考図書 ファッション情報誌 WWD

その他資料 参考作品 プリント 段階標本

記載者書名欄 中澤咲恵

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 高度専門士科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 生産管理概論	授業期間	後期

担当教員(代表)：宮澤 国博	共同担当者：
----------------	--------

概要

アパレル産業の生産プロセスの基礎知識を理解する。アパレル製品の仕様や生産工程を理解し、各自のものづくりに応用できる生産知識を身につける。(基礎レベル)

I. ガイダンス (1 コマ)

- ① 授業内容説明
- ② 生産管理の役割

II. アパレル産業の生産プロセス (1 コマ)

- ① アパレル産業の生産プロセスを理解する
- ② アパレル産業の各部門の役割を理解する

III. 生産指示書-基礎 (4 コマ)

- ① 生産に必要な書類の役割を理解する
- ② 加工裁断芯貼指図書、縫製仕様書に関わる用語を理解し、記入方法を知る

IV. 工程分析表-基礎 (2 コマ)

- ① 工程分析表の記入方法を理解する
- ② シャツ工程分析表を作成する

V. 生産指示書-応用 (2 コマ)

- ① オリジナルジャケットの生産指示書作成

VI. 工程分析表-応用 (2 コマ)

- ① ジャケットの工程分析表を作成

VII. 品質のつくり込み (1 コマ)

- ① 製造品質の安定と向上に関する知識を理解する
- ② 作業標準書の記入方法を理解する

VIII. 製造原価 (1 コマ)

- ① 製原価に関する基礎知識の理解

評価方法・対象・比重

評価方法：授業内試験、提出物 (CAD データ)

評価比重：試験5割、提出物5割

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑦ アパレル生産管理
工業ミシンアイロンの基本操作と知識

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
生産管理概論の基礎知識を理解する
文化服装学院専任講師が担当

記載者氏名 宮澤 国博

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	KA2	科 名	高度専門士科2年	単 位	1単位	
科目コード		科目名	商品企画	授業時間	90分	
【授業概要、到達目標・レベル設定】						
企業デザイナーに必要な技術/知識の習得。イラストレーターの習得。						
プレゼン資料作成方法						
【授業計画】 プレゼン資料の作成/製品図作製/指示書仕様書作製。						
テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数	
オリエンテーション①	講義	1				
オリエンテーション②	講義	1				
プレゼン資料作成①	講義・実習	1				
プレゼン資料作成①	講義・実習	1				
絵型作製①	講義・実習	1				
指示書/仕様書作製①	講義・実習	1				
指示書/仕様書作製①	講義・実習	1				
プレゼン資料作成②	講義・実習	1				
プレゼン資料作成②	講義・実習	1				
絵型作製②	講義・実習	1				
指示書/仕様書作製②	講義・実習	1				
指示書/仕様書作製②	講義・実習	1				
絵型作製③	講義・実習	1				
指示書/仕様書作製③	講義・実習	1				
総評	講義	1				

【評価方法】 課題提出物/評価無し

主要教材図書 無

参考図書 私物仕事資料

その他資料 私物仕事資料

授業の特徴と担当教員紹介

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

1

科コード KA	科名 ファッション高度専門士科2年	単位	2
科目コード 950021 950022	科目名 自由研究 II A、II B	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：中澤咲恵	共同担当者：道辻のぞみ 池端みゆき
---------------	-------------------

教育目標・レベル設定など

- ・ 子供服の一般知識と原型を理解し、グループで型出し・プレゼンテーションを行う。
- ・ 一重ジャケットとのコーディネートを考えボトムスを製作する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

自由研究ⅡA

1、一重パンツ プレゼンテーションデータ作成 ・プレゼンテーション演習

自由研究ⅡB

2、子供服 企画立案 実物仮縫いプレゼンテーションデータ作成・プレゼンテーションデータ演習
専門科目の「ファッションマーケティング」のカリキュラムと連動して行う。
※5人から6人のチーム課題として行う。

評価方法・対象・比重

提出作品，研究発表，出欠状況による評価

主要教材図書・・・文化出版局

文化ファッション大系…服飾造形講座②スカート・パンツ 服飾造形講座⑧子供服 ABC 評価

参考図書

その他資料 実物参考作品

記載者書名欄 中澤咲恵

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA2	科 名 ファッション高度専門士科2年	単 位	2単位
科目コード	科目名 ファッションデザイン画Ⅱ	授業期間	(通年)

担当教員(代表) :
岡本あづさ

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

独自の発想力、デザインイメージをいかに的確に具体的に表現していくかを考える。様々な発想の手法を探り、試し、チャレンジして行きながら新たなデザインの可能性を考えていく。デザインの表現テクニックを教科し、独自の表現方法を研究していく。

【授業計画】

- | | |
|-------------------------------------|--|
| I.・オリエンテーション(2コマ)
まるいものからのデザイン展開 | ・同一テーマである1つの立体を様々な角度から捉えることで可能性を生み出しデザイン展開を広げていく |
| II.コンテスト① (2コマ) | ・名古屋ファッションコンテスト |
| III.縫製テクニック(4コマ) | ・様々な縫製テクニックから1種選択し更にアイデアソースをプラスし新たなデザインの可能性を探る |
| IV.コンテスト② (2コマ) | ・文化服装各院ファッションデザインコンテスト |
| V.アイテムデザイン(製品図)(3コマ) | ・シーズンを選択しデザインの提案をする重要性を意識。アイテムについて調べ意識しアイデアソースと合わせデザイン展開を考える |
| VI.日本伝統工芸からのデザイン展開(3コマ) | ・服以外の工芸の要素に目を向けて、調べ、研究したことで感じ取ったテイストをデザインへ取り入れていく |
| VII.修了製作(5コマ) | ・校内ファッション画展
・各自のデザインテーマからデザイン展開を考え表現する |
| VIII.自由テーマからデザイン展開(3コマ) | ・各自研究し追求したいテーマを設定、デザイン展開を考える |

【評価方法】

評価基準：学業評価70%、授業姿勢20%、出席状況10%

主要教材図書

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 参考図書 | 各分野での展示カタログやアーティストの作品集、ファッション誌、雑誌等。 |
| その他資料 | 卒業生の参考作品など YouTube 動画(デザイン画テクニック) |

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴 デザインの基礎となる、人体のプロポーションをしっかりと把握しデザイン、デザインディテールなど、イメージするものを的確に表現する

担当教員紹介 学院卒業後デザイン画講師として活動。(文化服装学院/文化学園大学) その他ファッションイラストの仕事を手
個展も開催 2017年にはファッションイラストとして初めてイラストが日本郵便局から切手が発売された
2020年から「ファッションドローイング」のYouTubeチャンネル ADUSA's design drawing technique」をスタートさせる

記載者氏名 岡本あづさ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA2	科 名 ファッション高度専門士科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 色彩計画	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 落合里美	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1 年次の服飾デザイン論 I で学んだ色彩の知識をベースに、カラーカードを使った演習課題や作品作りを通してファッション業界で必要な応用配色、色彩によるイメージ表現の方法を身に着け、最終的には、それらを応用した色彩計画の考え方を学習していく。

【授業計画】

- 1. ファッション産業と色彩 (講義 1 コマ)**
 - ・ファッション産業における色彩の役割
 - ・流行色
- 2. 色彩構成 (講義・演習 1 コマ)**
 - ・基調色と配合色
 - ・アクセントカラー セパレーションカラー グラデーション
- 3. ファッションカラーコーディネーション (講義・演習 4 コマ)**
 - ・トーン・オン・トーン配色
 - ・トーン・イン・トーン配色 / トーナル配色
 - ・カマイユ配色 / フォ・カマイユ配色
 - ・コンプレックスハーモニー
 - ・その他の応用配色
(ドミナント配色 / コントラスト配色 / マルチカラー配色 / ビコロール / トリコロール)
- 4. イメージと色彩 (講義・演習 3 コマ)**
 - ・ファッションイメージと色彩
 - ・色の連想・象徴
 - ・四季のイメージと色彩
- 5. 色彩計画 (講義・演習 5 コマ)**
 - ・コンセプト / テーマの設定
 - ・イメージ構築
 - ・カラーパレットの展開
 - ・カラーバリエーションの展開
 - ・プレゼン技法

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準 : 学業評価 70% 授業姿勢 30%

主要教材図書	文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座②『服飾デザイン』文化服装学院編 (文化出版局)
参考図書	なし
その他資料	ベーシックカラー140 B5 版 カラーチャート

授業の特徴と担当教員紹介

文化服装学院非常勤講師

カラーコーディネーターとしてのキャリアを活かし、実習を通して、ファッション業界の現場で実際に活用できる知識と技術を習得するための授業を実施。

記載者氏名 落合里美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA2	科 名 ファッション高度専門士科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 アパレル素材論Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：菅野めぐみ	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル素材論Ⅰで学んだ基礎知識をもとに講義・演習・実験を通し、素材特性を最大限に引き出したより完成度の高い制作をはじめ、取扱い等を含めた素材知識を身につける事を目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 概論 (講義) 1 コマ
アパレル素材論Ⅱとは、1 年次で学んだ基礎知識の復習 (各繊維性能、糸、組織等について)
2. 布地の構成 (講義、演習、実習) 8 コマ
織編組織について、布地の構成と規格
織物模型制作、その他織組織スワッチ分類、布地調べ、先染め後染め、染色堅牢度、ミニテスト
3. 風合い (講義、演習) 3 コマ
各種風合い表現、風合いをつくるためのテクニック (繊維、糸、布地、加工の観点から探る)
風合い別分類マップ制作
4. テキスタイル産地 (講義、演習) 1 コマ
海外を含めた素材の展示会、日本において各産地の特色、サステイナブルな取り組みについて
5. 染色整理仕上げ (講義、演習、実習) 1 コマ
整理仕上げについて 各種仕上げ別分類
6. 布地の物性実験 (講義、実験) 5 コマ
サンプリング、各機器を使用した物性実験、考察
7. 熱可塑性を利用したプリーツ制作 (講義、実習) 5 コマ
プリーツの保持性実験及び、プリーツ作品制作
8. フェルト性実験 (実験) 1 コマ
各毛織物における収縮率の違い、フェルト化の認識
9. 総論 (講義) 1 コマ
アパレル素材論Ⅱ 総論

【評価方法】

S～C・F評価 (学業評価80% 授業姿勢20%)

主要教材図書	文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局／「ワークブックーアパレル素材論」文化服装学院教科書出版部／「テキスタイルファブリック」文化学園事業局
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

講義、実験、演習や実習を行いながら素材知識を深める授業です。 文化服装学院専任講師/菅野 めぐみ

記載者氏名 菅野めぐみ

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA2	高度専門士科 2 年	科目名 アパレル染色演習 I	単 位	1 単位
科目コード			授業期間	前期

担当教員(代表)：眞田玲子

共同担当者： 増田美砂希

概要アパレルデザインを行う上 重要である素材の染色加工に関する専門知識を養う。

理論・技法・工程など実技を通し習得する。 時代に沿った 各種表現方法を分析し構成する。

コマ	内 容
1	ガイダンス 授業内容 課題説明
2	講義課題 I 原毛染色 染色の基礎知識 酸性染料の浸染方法について理解させる
3	ウールの原毛フェルトによる 立体小物制作
4	〃
5	課題 II 絞り染め 講義絞りによる防染の仕組みと可能な表現について解説する
6	〃
7	実習縫い絞り、糸でくる絞り技法を使いエコバックを染色する
8	〃
9	講義 課題 II 型紙捺染 孔版プリントの仕組みを説明しデザイン化の意味を説明する 実習各自オリジナルロゴマーク、マスコット イラストなど図案をデザインする
10	〃
11	型紙作り 捺染 刷り込み実習
12	〃
13	まとめ
14	制作物考察とプレゼンテーション

評価方法…

① 試験0% ②課題提出70%③授業姿勢10%④出欠席20%⑤その他0%による総合評価

主要教材図書 アパレル染色論(文化服装学院教科書)

参考図書 なし

その他資料 各種技法の作業工程 レシピ配布

授業の特徴と担当教員紹介

眞田玲子 企業におけるテキスタイルデザイナーの経験をもとに繊維素材の実用性、アパレルデザインにおける必要な図案や素材との調和など染色加工の企画制作を指導。

記載者氏名 眞田玲子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士科2年	単 位	1 単位
科目コード	40420	科目名	服装解剖学Ⅱ	授業期間	半期（前期）

担当教員（代表）：高見澤ふみ	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1年次で学んだ服装解剖学の基礎を発展させ、筋の構造を解剖学的に理解させる。さらに動態計測（石膏計測）により、衣服製作に必要な皮膚の運動量・変化を把握させ、機能性大の衣服設計の理解を深める。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション（講義内容の説明）	講義	1
人体の運動と筋（筋の種類・分類）	講義	1
人体の運動と筋（頸部の筋）	講義	1
人体の運動と筋（胸部の筋）	講義	1
人体の運動と筋（背部の筋）	講義	1
人体の運動と筋（腹部の筋）	講義	1
人体の運動計測①（石膏計測法の説明）	講義・演習	1
人体の運動計測②	演習	1
石膏計測実習①（上挙・下垂の体表変化）	グループ演習	1
石膏計測実習②（上挙・下垂の体表変化）	グループ演習	1
機能性大の衣服について①	演習	1
機能性大の衣服について②	講義	1
体型の経年変化と各種ボディについて	講義	1

【評価方法】

学業評価：レポート…40%、ノート・プリント…30%、平常点…10% 授業姿勢：出欠状況…20%

主要教材図書	服装解剖学ノート（文化出版局）
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴：衣服を着用する土台となる人体の構造や機能を把握し、動きやすく着心地の良い服、体に合う衣服製作への応用を目指す。

担当教員紹介：文化女子大学（現文化学園大学）卒、文化・服装形態機能研究所副所長兼務
衣服製作に関わる計測などを専門とし、外部企業や他大学との共同研究やボディ・商品開発などを行う。2011年より障がい者衣料の研究を継続。NHK Eテレ「バリバラ」のバリアフリーファッションショーにも参加。（2015～17年）

記載者氏名	高見澤ふみ
-------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA2	科 名 ファッション高度専門士科 2 年	単 位	単位
科目コード	科目名 ファッションマーケティング	授業期間	()

担当教員（代表）：丹羽一友	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

マーケティングの基礎を学び市場の細分化とその特徴を理解しファッションビジネスへの応用、活用を具体的に実行する方法を学ぶ。戦略立案から商品企画までを行い最終的に企画プロジェクトのプレゼンテーションを行い、即戦力としての知識、経験を身につける。

【授業計画】前期（各 1 コマ）

- ①マーケティングの基礎知識（概論）：目的、方法
一般論としてのマーケティングとは何か、マーケティングのプロセスを理解する
- ②ファッションビジネスにおける「実践マーケティング」
マーケティング手法を具体的にファッションビジネスに落とし込む方法を理解する
- ③「消費者行動」と「ファッション表現」
マーケティングの対象者である顧客のファッションにおける消費行動を理解する
- ④ファッション業界を取り巻く現状：統計データより
現状のファッションビジネスのおかれている状況を具体的な数字データをもとに理解する
- ⑤国内流通の現状について：川上～川下（企業別データ）
国内のファッションビジネスのサプライチェーンの基本と変化を理解する
- ⑥国内小売業について
国内の顧客との接点である小売業の種類、詳細を理解する
- ⑦ブランディングについて
「ブランド」の意味と構築の方法、維持までを理解する
- ⑧戦略、ブランディングの実施
リサーチ結果から戦略を立て、ブランディングを行う具体的な方法を理解する
- ⑨情報収集とリサーチ
マーケットの流れ、ライフスタイルなどの仮説を立て検証し戦略立案を行う方法を理解する
- ⑩リサーチ発表
仮説とリサーチ結果を分析、考察、修正を実際に行いプレゼンテーションを行う（ツールの作成）
- ⑪マーチャンダイジング及びプロモーション
リサーチ結果をもとに具体的に商品のマーチャンダイジングの組み立て方法を理解する
- ⑫マーチャンダイジング実施
商品企画の実施
- ⑬マーチャンダイジング発表
実際に立案したマーチャンダイジングの計画のプレゼンテーションの方法を理解する

【評価方法】

プレゼンテーション

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション高度専門士科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 CAD パターンメイキング I	授業期間	通年

担当教員(代表)：井戸川 倫也

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

アパレル産業の設計・生産・製造のプロセスにおいて利用されている「アパレル CAD」について、その有用性を認識し活用するための技術を身につける。CAD での囲み作図や、手書きの作図をスキャナーで入力したものをデータ化し縫い代をつけるなど、工業用パターンを完成させる方法の基本的な操作を習得する。
基礎的な作業ができるレベルを目指す。

【授業計画】

I. オリエンテーション (1 コマ)

- ① 授業概要と評価基準説明
- ② アパレルメーカーにおける CAD の役割解説とデモンストレーション
- ③ パソコンの基本操作

II. CAD の基本操作 (1 コマ)

- ① 基礎練習

III. 囲み作図 (2 コマ)

- ① 文化式原型作図

IV. 展開操作 (3 コマ)

- ① 身頃原型からアイテム原型への展開
- ② スカート原型からデザインパターンへの展開

V. スローパーからのパターンメイキング (3 コマ)

- ① シャツパターン作成 I

VI. 前期のまとめと小試験 (3 コマ)

- ① 前期習熟度の確認とおさらい
- ② 小試験実施
- ③ 小試験解答

VII. スローパーからのパターンメイキング (3 コマ)

- ① シャツパターンの作成 II

VIII. プランニング (1 コマ)

- ② パーツ化、情報付け、縫い代付け

IX. パターン操作による展開 (3 コマ)

- ① ジャケットパターンの展開操作

X. 周辺機器 (2 コマ)

- ① プリンター
- ② マーキング
- ③ スキャナーとトレース

XI. トレース実習 (2 コマ)

- ① スキャナーを利用し、オリジナルパターンを取り込みデータ化し提出する

XII. 3D データ作成 (1 コマ)

- ① 3D CAD を使用し、2D パターンをバーチャルで縫合し、データ作成する

XIII. 後期のまとめ (1 コマ)

- ① 後期習熟度の確認とおさらい
- ② 学年末試験対策

「使用ソフト」 東レ ACS 株式会社 クレアコンボ II

評価方法・対象・比重

評価方法：S～C・F 評価 実技試験 (50%) + 提出物 (20%) + 出席 (30%)

主要教材図書

参考図書

その他資料 私製プリント

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル CAD のオペレーションを体得し、他科目での制作にも役立てる事ができる。担当教員は文化服装学院専任講師。

記載者氏名 井戸川 倫也

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA2	科 名 ファッション高度専門士科2年	単 位	2単位
科目コード 101510	科目名 ニットアパレル造形Ⅰ	授業期間	通年

担当教員(代表)：下村 みち代

共同担当者：

概要

ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ	回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習、ニットのアイロンのかけ方	講義・演習	1	14	編地の種類	講義	1
2	指編みまとめと始末、鉤針基礎（鎖編み、細編み）JIS記号について	講義・演習	1	15	ニット原型	講義・演習	1
3	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）	演習	1	16	ニット作図	講義・演習	1
4	鉤針応用・円形編み	講義・演習	1	17	作品制作の手順とゲージの取り方	講義・演習	1
5	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1	18	各自作品制作	演習	1
6	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	演習	1	19	各自作品制作	演習	1
7	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1	20	各自作品制作	講義・演習	1
8	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1	21	各自作品制作	講義	1
9	ニットの素材・ニット小物制作	演習	1	22	各自作品制作	講義・演習	1
10	棒針編み模様	講義・演習	1	23	各自作品制作	演習	1
11	棒針編み模様	演習	1	24	各自作品制作	演習	1
12	鉤針編み模様	講義・演習	1	25	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1
13	鉤針編み模様	演習	1	26	3年次授業デモンストレーション 家庭用手編み機・手横・リンクング	講義・体験	1

評価方法・対象・比重

提出物… 80% 授業姿勢・出欠席… 20%

主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント

授業の特徴と担当教員紹介

ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。後期には各自のデザインしたニット作品の制作を行う。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 下村 みち代

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション高度専門士科2年	単 位	2単位
科目コード	科目名 コンピューターグラフィックⅡ	授業期間	通期（27コマ）

担当教員（代表）：中村 浩	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

グラフィック系ソフトの基本操作技術をレベルアップさせ、アパレルデザインや各種プロモーションツールの制作等、実戦に活かせるスキルを身につける。全27回

【授業計画】PCを使ったグラフィックデータの作成 Adobe Photoshop illustrator 全27回

テーマ	方法	コマ数
Photoshop 基本操作復習（Photoshop コラージュ）	演習	4
Photoshop 応用（パターン・モックアップ制作等）	演習	2
illustrator 基本操作（文字・画像配置）	演習	2
デザイン編集演習	演習	3
illustrator 基本操作（ペンツール）	演習	2
製品図制作 1	演習	4
製品図制作 2（ブレンド・パターン）	演習	5
製品図制作 3（課題制作）	演習	5

【評価方法】

S～C・F評価 出席・提出物70% 授業姿勢30%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	筆記用具 USB フラッシュメモリ

授業の特徴と担当教員紹介

武蔵野美術大学卒 百貨店販促宣伝部を経て主にグラフィックデザイン、WEB デザインを中心に活動

記載者氏名 中村 浩

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KA2	科 名	高度専門士科 2 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	ファッション英会話 II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 三村 典召

共同担当者 : 越後谷 明恵
アラン マーティンセン

【授業概要、到達目標・レベル設定】高校までに学習した文法の復習と、口頭での運用力の強化を主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙・表現を増やすことにも重点を置いたプログラムとしている。1年次に行ったプレイスメントテストの結果を基にクラスを編成し、各レベルに合わせて進度を調整する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Classroom English and self-introduction	演習	1	Likes and dislikes (gerunds)	演習	1
Countries and fashion brands	演習	1	The modal verbs (1)	演習	1
Occupations	演習	1	The modal verbs (2)	演習	1
Calendar (ordinal numbers)	演習	1	Prepositions	演習	1
Adjectives 1 (weather and temperature)	演習	1	Giving directions	演習	1
The personal pronouns	演習	1	Comprehensive review of giving directions	演習	1
The demonstrative pronouns	演習	1	Conjunctions	演習	1
Time and frequency	演習	1	Adjectives 2 (for materials)	演習	1
The past tense	演習	1	Comparatives and superlatives	演習	1
The present perfect tense	演習	1	Culture: Christmas (Holiday season)	演習	1
Daily routine (the present tense)	演習	1	New year's resolution (the future tense)	演習	1
"wh" questions	演習	1	Preparation for the final presentation	演習	1
Review of the spring semester & Culture	演習	1	Final presentation	演習	1

【評価方法】

学業評価 (50%)、 授業姿勢 (50%)

主要教材図書 Essential English for Fashion Students

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 コミュニケーション力を養うため可能な限りペアワーク・グループワークの機会を設ける

記載者氏名 三村 典召

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA2	科 名 ファッション高度専門士科	2 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 フランス語 II		授業期間	通年

担当教員(代表) : ジル・ランドウーチ Gilles LANDUCCI	共同担当者 :
---	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1 年後期フランス語入門を学んだ学生を対象としたクラス運営を目標とする。復習をかね、フランス語独特の音にさらに親近感を持てるよう発音練習を続け、基本的な文法・動詞の運用ができるようにする。またフランス語の簡単な日常会話、また初歩のコミュニケーションをとることができることを目指す。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
自己紹介／数／天気	講義	1	過去形導入	講義	1
フランス紹介	講義	1	過去形	講義	1
être 動詞	講義	1	場所を示す表現	講義	1
名詞・形容詞	講義	1	vouloir 動詞	講義	1
être 動詞否定形	講義	1	Je voudrais + er 動詞	講義	1
avoir 動詞	講義	1	質問詞	講義	1
avoir 動詞否定形	講義	1	道案内	講義	1
aller 動詞	講義	1	切符を買う	講義	1
aller 動詞 + 方向	講義	1	人物描写	講義	1
prendre 動詞	講義	1	総まとめ	講義	1
prendre 動詞 + 乗り物	講義	1	学生の発表	講義	1
映像を通してフランスを学ぶ	講義	1	映像を通してフランスを学ぶ	講義	1
総まとめ	講義	1			
faire 動詞	講義	1			

【評価方法】 通年の授業への参加態度(口頭)、筆記テスト(複数)、出席

主要教材図書 テキスト Le français à la carte

参考図書

その他資料 プリント、映像

担当教員紹介 ポール・ヴァレリーモンペリエ大学で映像芸術としての映画を研究(修士号取得)。18 年間の日本でのフランス語教師経験をもつ。『もって歩くフランス語 BOOK』(西東社/2006 年)の執筆・監修を担当。

記載者氏名 ジル・ランドウーチ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA1	科 名 ファッション高度専門士科 1年	単位	2単位
科目コード 947200	科目名 フランス語 II（選択）	授業期間	通年

担当教員(代表)：平野 佐和

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

毎回フランス語の発音・表現に親しみ、基本文法の理解に基づく平易な日常会話に必要なスキルの向上を目指す。講義ではポピュラーなシャンソンも聴き、詩を読み発音練習も行う。ファッション・香り・映画・料理などの多様なフランス文化を紹介しながら、フランス語により興味を持って意識できる機会を多く設ける。目標レベルは DELF A1～2、または実用フランス語検定 4～3 級。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	フランス語 I の復習と目標設定	16	直説法単純未来
2	近接未来、近接過去、移動の表現	17	直説法単純未来形で未来の計画を表現
3	pouvoir, vouloir, devoir で可能性・願望・義務を表現	18	復習と応用 3／未来の計画を伝える
4	Si＋動詞の現在形、時刻表現	19	条件法現在
5	直説法複合過去	20	現在分詞とジェロンディフ
6	人称代名詞を用いた会話表現	21	受動態
7	強調構文 C'est ～ qui…等での表現	22	接続法現在形で義務などを表現
8	代名動詞	23	接続法現在形で意志や感情を表現
9	代名動詞の複合過去形	24	復習と応用 4／語彙と会話表現の確認 1
10	比較級と最上級	25	復習と応用 5／語彙と会話表現の確認 2
11	関係代名詞 qui, que, où, dont	26	総復習／様々なフランス語を読む
12	復習と応用 1／自分の行動を伝える	27	
13	復習と応用 2／自分の生活を伝える	28	
14	直説法半過去	29	
15	過去形で過去の状態や習慣を表現	30	

評価方法・対象・比重

授業時に実施する筆記課題と小テスト（口述&聴き取り）

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴

フランス人教員と日本人教員がそれぞれの特性を生かした方式を交互に提供することで、文法理解や口述表現力向上への相乗効果を目指す。フランス人教員による映画鑑賞や、日本人教員による香りや音楽等の文化紹介も行うことにより、初心者がフランス語を楽しみながら基礎から学べるように指導する。

担当教員紹介

平野 佐和

上智大学外国語学部フランス語学科卒。デザインコンサルティング会社にて企画担当、モード誌編集者、アロマセラピストを経て、ホテル併設アロマトリートメントサロン監修。フリーランスのプランナーとして香りの商品企画にも携わる。文化学園大学現代文化学部にて『ファッションとアロマ』講師（2005～2014）。2010 年より文化服装学院にてフランス語講師。香りの専門誌『PARFUM』編集メンバー（～2023）。

記載者書名欄 平野 佐和

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション高度専門士科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 中国語 II（選択）	授業期間	通年（ ）

担当教員（代表）：鯉坂 江理	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

日常生活中でよく使う挨拶表現を深めます。復習段階では、単語を蓄積しながら文型入り、実践練習で会話表現を覚えます。

新段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準 4 級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩表現についてトレーニングします。中検 4 級基準。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

◎ 復習 挨拶表現 1 コマ

講義内容：引き続き挨拶の表現の練習をします。家族・職業・好みなどのニュアンスを紹介しながら、発音練習します。

◎ 復習 基本文型 （代名詞・述語文・場所と方位表現） 3 コマ

講義内容：問答式で講義を行います。肯定表現の“是”か“対”または否定表現の“不是”か“不对”などを用いて、「はい」「いいえ」という会話表現を練習します。動詞の“有”“在”を用いて「～に～がある、～は～にある」という所有・存在の意味を表す文に重点を置き会話力の向上を目指します。

◎ 基本会話表現 （数詞・量詞・副詞・疑問文） 3 コマ

講義内容：数詞や量詞を用いて、日常用品や仕入れ・小売専門用語などと連結して会話練習します。副詞や疑問文を服飾関連用語に取り入れて、アパレル製造工程を試作します。

◎ 時制のニュアンス （完了/経験/継続を表す助詞及び動作の持続態） 7 コマ

講義内容：ごく一般的な動詞を述語にする文について学習します。語順は英語に似て S. V. O. となりますが、英語と違い、動詞の語尾は人称・時制によって変化しません。助動詞“了”“着”“過”と“正在”を使い、時制自製のニュアンスを練習します。

◎ 意思の伝え方 （前置詞） 2 コマ

講義内容：会話も文書もよく使われている「前置詞」「在」「从」「到」「跟」（日本語では、「～に、～で、～から、～まで、～のために」などに相当する）を中心として、自分の意思をより正確に相手に伝える表現を練習します。

◎ 回数・時間・程度の表し方 （疑問文・比較文・連動式） 8 コマ

講義内容：主語・動詞・目的語という文法構造体を用いて、様々な表現で練習します。

◎ 作文演習 2 コマ

講義内容：作文にはその材料となる単語の貯蓄を豊にしておく観念から、中国語の発想の基本的なものは何かを分析し、中国語への転換練習を行いながら、中国語の基礎を一步一步踏み固めていけるようにトレーニングします。

【評価方法】 授業内のミニテスト（グループ総合レポート提出 50%）；

ペーパーテスト（クイズなど 30%）； 授業出席率（20%）

主要教材図書 「中国語入門」 鯉坂江理編集

参考図書 「デイリーコンサイス中日辞典」 三省堂 杉本達夫他著、補足プリント（単語/構文サンプルなど）

その他資料 「中国語」 林台州など翻訳 池田書店

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：図解にて文法説明。服装用語・日常会話を中心。

担当教員：理工系・修士。1987 年～2002 年（株）メイテックなど技術開発社にてプログラマーとして勤務。2005 年以降現職。

記載者氏名 鯉坂 江理

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA	科 名 ファッション高度専門士科 2年	単 位	1
科目コード 947200	科目名 コラボレーションb (自由選択)	授業期間	通年

担当教員(代表)：中澤咲恵	共同担当者：道辻のぞみ 池端みゆき
---------------	-------------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。人と人との様々なつながりと調和が必要となるため柔軟な人間力、コミュニケーション能力を身につける。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>●コラボレーション企画依頼があった際に、教育効果があるものに対し参加する。(13コマ)</p>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出欠、作品・商品製作及びレポート提出 P評価</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄 中澤咲恵

記載者書名欄 中澤咲恵

科コード KA	科名 ファッション高度専門士科 2 年	単 位	1
科目コード 930020	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：中澤咲恵	共同担当者：道辻のぞみ 池端みゆき
---------------	-------------------

教育目標・レベル設定など

- ・研修を通して更に学生同士のコミュニケーションを深める。
- ・企業見学を通してテキスタイルメーカーについての見聞を深める。
- ・日本の歴史的文化に優れた文化財、美術作品にふれることにより感性、美意識を高める。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

研修旅行…京都／大阪／名古屋(中伝毛織・藤井整絨(株)・匠整理(株)二条城・清水寺・国立民族学博物館・
テキスタイルマテリアルセンター 他自由行動含む)

評価方法・対象・比重

参加出席状況による評価 P評価

主要教材図書

参考図書

その他資料 しおり 見学工場より PDF 資料

記載者書名欄 中澤咲恵

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位	17単位
科目コード 001121 001122	科目名 アパレル造形 II A・II B	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：朴澤 明子	共同担当者：稲葉 りさ
----------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

3年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求し、より深く研究。平面作図からだけのデザインではなく立体からもとえられる様、自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品制作まで個性を生かした表現、テクニックの育成をする。4年生のプライベートコレクションに繋げられるよう課題を進める。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

アパレル造形 論	II A 1単位	・	II B 1単位
アパレル造形 デザイン	II A 2単位	・	II B 2単位
アパレル造形 ドレーピング	II A 2単位	・	II B 2単位
アパレル造形 実技	II A 3単位	・	II B 4単位

※制作課題はすべてコーディネート制作

1 カジュアルウェア 38コマ(前期)

デザイン/パターン/実物製作/レポート、プレゼン

2 総裏ジャケット 40コマ(前期)

デザイン/パターン/実物製作/レポート、プレゼン

3 ニューフォーマルウェア 33コマ(後期)

デザイン/OP/ドレーピング/パターン/実物制作/レポート/プレゼン

4 ウィンターデザインコート 45コマ(後期) バザーコート (5)

デザイン/パターン/実物製作/レポート、プレゼン

5 修了製作 61コマ(後期)

2体以上制作/デザイン/パターン/実物製作/レポート、プレゼン

6 ドレーピング 24コマ (前期・後期)

ストレート原型/3面構成 JK/ラグランズリーブコート/フード付きテントラインセミラグランコート(説明)
※使用ボディ・・・工業ボディ

【評価方法】

- アパレル造形デザインII A. B、ドレーピングII A. B、実技II A. B・・・課題作品(90%) /出席率、授業態度(10%)
- アパレル造形論II A. B・・・試験評価(100%)

授業の特徴と担当教員紹介 高度専門士科の専任講師による服飾造形技術とデザイン指導

主要教材図書

文化ファッション大系、オリジナルサブテキスト

参考図書

その他資料 各種実物標本、トレンドマップ資料、部分縫い

記載者氏名 稲葉 りさ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科 名 ファッション高度専門士科 3年1,2組	単 位	1単位
科目コード 005800	科目名 生産演習	授業期間	後期（集中）

担当教員（代表）：加藤紀人	共同担当者：井戸川 倫也
---------------	--------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業の生産プロセスのうち、縫製工場における工業的な生産方法について「セル生産方式」をベースにした実習を通して理解を深める。均一な製品を安定的かつ効率的に生産するための手法として用いられる生産指示書類の重要性も再確認する。また完成品の検品を行うことで、商品となって消費者の手に届く製品が満たすべき品質を認識することを目標とする。

【授業計画】

I. ガイダンス・縫製準備 (1)

- ①実習の目的、概要説明
- ②縫製準備工程（延反、裁断、芯貼り、仕分け等）

II. 部品縫製 (5)

- ・各部品の作りこみ実習

III. 組み立て (5)

- ・完成部品の組み立て工程実習

IV. まとめ (2)

- ・糸始末等、まとめ作業実習

V. 検品 (1)

- ①仕上がり寸法確認
- ②外観検査

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 学業評価 30%、 授業姿勢 70%

主要教材図書

参考図書

その他資料 私製生産指示書

授業の特徴と担当教員紹介

工業用の機器を使用し、均一な品質のアウターを生産する。 文化服装学院 専任講師が担当。

記載者氏名 加藤紀人

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科 名 ファッション高度専門士科3年	単 位	1単位
科目コード 609550	科目名 アパレル商品企画・演習	授業期間	後期

担当教員(代表)：鬼澤 瑛菜	共同担当者： 西野岳人
----------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション業界における、企画デザイナー、デザイナーブランドのどちらにも対応出来るよう、ブランド設定、ターゲット分析、オリジナルデザインによるサンプル制作を通して、商品としての企画を学ぶ。また生産管理や工場への注文など細部に渡り、企業で行われている仕事の内容や方法を理解する。

【授業計画】

オリエンテーション（2コマ）

課題説明 ブランド立ち上げやビジネスについて。コレクションブランドとしての活動内容。

市場、トレンド調査分析 デザイン検討 打ち合わせ

1. アパレル業界の仕事について

工場、パタンナー、商社、図案師、PR、スタイリスト、バイヤー、テキスタイル産地

2. ブランド企画立案・商品企画

3. ターゲット、ペルソナシート、素材確認 縫製方法、付属（ファスナー、ボタン、テープ、紐等）

アイテム限定デザインアドバイス

4. ブランド店舗企画、展示企画

3 Look 総合点検 ブランドとして3体全体の統一が出来ているのか点検。

商品としての企画に対応しているのかアドバイス

5. 実習、制作

6. 最終企画案 プレゼンテーション

各商品解説 各ブランド設定に応じて講評、採点

企業デザイナーの仕事内容についてのまとめ。

就職や将来の希望職種などのアドバイス

【評価方法】

出席、課題提出状況 10%

プレゼンテーション、課題内容 90% 英字評価

授業の特徴と担当教員紹介

本学院卒業 コレクションブランド5knotデザイナー。企業ブランドなども経験。
アパレル企業における商品企画・デザイナーとしての経験をもとに、ファッション業界における企画デザイナー、デザイナーブランドのどちらにも対応できる商品企画、生産工場への発注など、企業で行われている仕事の内容や方法を実践的に学ぶ

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 朴澤 明子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位	2単位
科目コード 950030	科目名 自由研究Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)： 朴澤 明子	共同担当者：稲葉 りさ
-----------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル造形のカリキュラムで制作した作品のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行う。
3年次で制作したポートフォリオをふまえて、4年次に向けてのマイコレクション準備に発展させる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・各課題作品や長期休暇中の課題制作のポートフォリオ、プレゼンテーションの評価。
- ・カリキュラム課題作品のカメラワークなど

ポートフォリオ内容

- 1, 表紙
- 2, テーマ・コンセプト
- 3, テーマについてのリサーチ
- 4, ムードボード
- 5, 制作プロセス、トワル仮縫い、トワル修正点
- 6, 制作物のデザイン画・製品図
- 7, デザイン展開
- 8, 作品写真(コンセプトに合わせたルック撮影をする)
- 9, 作図や作品制作に携わるものを自由に入れる(使用素材・加工方法・部分縫い等)
- 10, 作品考察

【評価方法】

S～C・F評価 出席評価10%、課題提出30%、プレゼンテーションによる評価60%

授業の特徴と担当教員紹介 高度専門士科の専任講師による服飾造形技術とデザイン指導

主要教材図書

なし

参考図書 参考図書 各自テーマに基づいた参考図書

その他資料

記載者氏名 稲葉 りさ

2024年度 カリキュラム科目概要			文化服装学院教務部
科コード 科目コード	科 名 科目名	ファッション高度専門士科3年 ファッションデザイン画ⅢA	単位 1 授業期間 半期
担当教員(代表)： 水野雅己		共同担当者：	
<div>【授業概要、到達目標・レベル設定】</div> <div>デザイン画に求められる技術・知識の要素をカリキュラムに配分し課題ごとに構成。 学生が自らのアイディアを具体的に表現できる実力を育成する。</div>			
<div>【授業計画】</div> <div>前期 1 ～ 6 (14 コマ)</div> <div><div>1. オリエンテーション 年間授業内容の説明、学習意欲を持たせる</div><div>2. 人体の早描き</div><div>3. テーマからのデザイン展開 1</div><div>4. テーマからのデザイン展開 2</div><div>5. シンメトリー・アシンメトリー デザイン論を基に形の左右対称、非対称を理解しファッションデザインに展開する。</div><div>6. マイコレクション (夏期課題含む) 興味のある分野を独自の世界観にデザイン展開しポートフォリオにまとめる能力を磨く</div></div>			
<div>【評価方法】</div> <div>提出課題作品、学年末試験、出席状況、授業態度</div>			
授業の特徴と担当教員紹介		次年度のデザインワークに対しサポートできる課題を設定。学生の能力を引き出すために、 学生に寄り添う指導を目指すとして理解しやすいデモンストレーションと提出物の丁寧な添削を行う。	
主要教材図書			
参考図書			
その他資料		Fashion Drawing Basic	
記載者氏名		水野雅己	

科コード	科 名	単位	単位
科目コード	科目名	授業期間	1 半期
	ファッション高度専門士科3年		
	ファッションデザイン画ⅢB		

担当教員(代表)：

水野雅己

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

これまでに習得したデザイン展開方、表現技術をポートフォリオ形式でまとめる能力を育成する。

【授業計画】

- 後期 1～3
(14 コマ)
1. 柄表現 ----- 3コマ
規則的に広がる柄と不規則な柄の表現技術の習得
 2. 素材表現 ----- 4コマ
ニット・レザー・ベルベットなど厚物素材の表現技術の習得
 3. 修了作品／校内ファッション画展 ----- 7コマ
指定された制作条件の基に、これまで習得した感性の成果をファッション画でまとめる
(B3 パネル)

【評価方法】

提出課題作品、学年末試験、出席状況、授業態度

授業の特徴と担当教員紹介

次年度のデザインワークに対しサポートできる課題を設定。学生の能力を引き出すために、学生に寄り添う指導を目指すとして理解しやすいデモンストレーションと提出物の丁寧な添削を行う。

主要教材図書

参考図書

その他資料

Fashion Drawing Basic

記載者氏名

水野雅己

科コード	科 名 ファッション高度専門士科	単 位	1 単位
科目コード	科目名 アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表)：田村亜由美	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

テキスタイルやアパレルの品質評価試験、品質基準、洗濯などの取り扱い方法や製品の品質表示、関連する法規制や規格等について講義、演習、実習を通して学び、法律や規格を遵守した上で、実用性能、要求品質を満たしたアパレルの企画、製造、販売ができることを目的とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 関連する表示の法律 ・ アパレルの品質管理について	講義	3 コマ
・ 品質表示について		
2. アパレルの取り扱い・洗濯 ・ 洗濯方法の種類と特徴	講義 演習 5 コマ	
・ 特殊クリーニングについて		
・ 耐薬品性・しみ抜き方法の理解		
・ しみ抜き実習		
・ 保管について、子供服の安全規格について		
3. 関連する法律や規制について ・ 安全性に関連する法律規制	講義	1 コマ
4. 品質評価試験 ・ 品質評価試験について	講義 実習	3 コマ
・ 染色堅ろう性について（染色堅ろう度試験）		
・ 形態安定性、寸法変化率について		
5. アパレルに関連する表示の法律 ・ 表示法とポリウレタンの素材特性	講義	1 コマ
6. アパレルの保証とクレーム ・ アパレルの保証とクレーム事例	講義	1 コマ
	計	14 コマ

【評価方法】 学業評価:80% 授業姿勢20%

主要教材図書 主要教材図書 ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：講義とともに実習やデモンストレーションを取り入れ、品質管理を学習する。

担当教員紹介：文化女子大学（現文化学園大学）卒業、職歴 都内百貨店の品質管理、公的検査機関

記載者氏名 田村亜由美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科 名 ファッション高度専門士科3年1・2組	単 位 1 単位
科目コード	科目名 テキスタイル産業論	授業期間 後期

担当教員(代表)：佐藤奈央

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

■教育目標

テキスタイルの構造や生産について実習を通して一連の流れを理解してもらう。工場への依頼方法を説明し、実際に指示書を作成し企業でも独立しても使える知識を学ぶ。素材の原産国や国内産地について説明しテキスタイルの知識を深めてもらう

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
テキスタイル産業について	実習・講義	1
テキスタイルの生産方法 <ul style="list-style-type: none"> ・テキスタイルのプリント方法について 	実習・講義	1
<ul style="list-style-type: none"> ・インクジェットプリントのデザイン 	実習・講義	1
<ul style="list-style-type: none"> ・インクジェットプリントの工場依頼指示書作成 	実習・講義	1
<ul style="list-style-type: none"> ・シルクスクリーンプリントのデザイン 	実習・講義	1
<ul style="list-style-type: none"> ・シルクスクリーンプリントの工場依頼指示書作成 	実習・講義	1
<ul style="list-style-type: none"> ・織物の種類・素材や糸について 	実習・講義	1
<ul style="list-style-type: none"> ・平織・綾織・朱子の織物三原組織を使ったデザイン 	実習・講義	1
<ul style="list-style-type: none"> ・三原組織の工場依頼指示書作成 	実習・講義	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ジャカード織りのデザイン 	実習・講義	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ジャカード織りの工場依頼指示書作成 	実習・講義	1
テキスタイルの種類とその産地（国内）について	実習・講義	2
各素材の原産国について	実習・講義	1

【評価方法】

授業内のレポート提出

主要教材図書 アパレル素材論

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

【授業の特徴】

デザインなどの実習をメインにテキスタイルの構造や生産方法を理解する

【担当教員】

繊維企業でテキスタイルデザイナーMDとして14年勤務。2021年に独立しニットブランドをスタート。企業でのテキスタイル企画、デザイン、生産を伝えられるよう努めます。

記載者氏名 佐藤奈央

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	1 単位
科目コード	40430	科目名	服装解剖学Ⅲ	授業期間	半期（前期）

担当教員（代表）：高見澤ふみ	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1・2年次で学習した人体の構造と運動を基礎とし、三次元計測機で得られるデータからの運動計測方法についての知識を得て、人体の動きとパターンとの関係について認識させる。健常者だけでなく障がいをお持ちの方に向けた衣服に関する知識とパターンについてもグループワークを実施し理解を深める。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、

他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション（講義内容説明）、上肢障害当事者の方への質問事項ディスカッション	講義	1
人体の運動と衣服パターンについて（機能性のある服）	講義	1
3D スキャンによる計測体験（各自のデータ取得）	演習	1
障がい当事者から話を聞く（上肢離断当事者より）	講義	1
上肢障害における身体への影響を考慮したファッションについて	講義、演習	1
上肢障害における衣服の提案とプレゼンテーション	講義 演習	2
グループディスカッション（プレゼンテーションのフィードバックをもとに最終的な制作物を決定）	演習	1
グループワーク②③④⑤ グループ制作	演習	4
プレゼンテーション準備	演習	1
グループ発表・レポートと作品提出	演習	1

【評価方法】

学業評価：レポート…40%、グループ研究発表…30%、実習過程…10% 授業姿勢：出欠状況…20%

主要教材図書 服装解剖学ノート（文化出版局）
参考図書 なし
その他資料 なし

授業の特徴：衣服を着用する土台となる人体の構造や機能を把握し、動きやすく着心地の良い服、体に合う衣服製作への応用を目指す。

担当教員紹介：文化女子大学（現文化学園大学）卒、文化・服装形態機能研究所副所長兼務
衣服製作に関わる計測などを専門とし、外部企業や他大学との共同研究やボディ・商品開発などを行う。2011年より障がい者衣料の研究を継続。NHK Eテレ「バリバラ」のバリアフリーファッションショーにも参加。（2015～17年）

記載者氏名 高見澤ふみ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KA3	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	1単位
科目コード		科目名	アパレルマーチャンダイジング	授業期間	(前期)

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションマーケティング、マーチャンダイジングへの理解を深める。
ブランド開発をもとに戦略立案から商品企画、プレゼンテーションまで行う事でその知識を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションマーケティング入門 (1コマ)・・・講義

- ①オリエンテーション ファッションと衣服の関係とデザイナーとファッションビジネス

II. 情報活動について (1コマ)・・・講義

- ①情報活動の位置付けと重要性について 情報の種類と活用について

III. ファッション企業研究 (4コマ)・・・講義・演習

- ①ファッション企業の今後を考える
- ②店舗調査を行い現状を把握する
- ③SWOT 分析を行い差別化のための戦略を考える

IV. 新ブランド開発 (7コマ)・・・講義・演習

- ①ブランド戦略と意思決定について
- ②ブランド設定の方法
 - ・コンセプト設定・アイテム計画・デザインマネージメント
- ③市場細分化とターゲット分析
 - ・企業運営における市場細分化の意味
 - ・ライフスタイル分析の手法とプロフィール化
- ④プレゼンテーション
 - ・プレゼンテーションの方法について

【評価方法】

提出物 60% 出席状況 40%

主要教材図書

参考図書 服飾図鑑・ファッション情報誌・各種業界新聞など

その他資料 図書館・リソースセンター作品、映像など

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション高度専門士科 3 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 3DCAD	授業期間	前期

担当教員(代表)：宮澤 国博	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

PatternMagic II の基本操作を理解し、オリジナルの着せ付けや、デジタルトワルの見方、修正を身に着ける。
Clo Enterprise の操作方法の基礎を理解し、各仕様に合わせた設定方法や、3DCG として出力する際の調整方法を身に着ける。

【授業計画】

使用ソフト：東レ AGS 株式会社 CREACOMPO II

Clo Enterprise

adobe (Illustrator)

I. ガイダンス (1 コマ)

① 授業内容の説明

II. PatternMagic II 3D (4 コマ)

- ① 着せ付け用パターンの準備
- ② 着せ付け方法
シャツ、スカート、パンツ、セットアップの着せ付け
- ③ 着せ付け後の機能
- ④ オリジナルパターンの取り込み
- ⑤ オリジナルパターンの着せ付け

III. Clo Enterprise (10 コマ)

- ① 着せ付け用パターンの準備
- ② 着せ付け方法
- ③ デザイン、仕様に合わせた設定
シャツ、パンツ、プリントTシャツ、ファスナーアイテム、プリーツ・タックデザインの着せ付け
- ④ オリジナルパターンの取り込み
- ⑤ オリジナルパターンの着せ付け
- ⑥ レンダリング設定と出力
レンダリングの基本設定、背景の設定、照明の追加と設定

【評価方法】

各回のデータ+平常点30%

オリジナル作品70%

主要教材図書 私製テキスト

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル CAD に関連するソフトウェアの使用法と 3DCAD データ作成の基礎を習得する。

文化服装学院専任講師が担当

記載者氏名 宮澤 国博

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード K A 3	科 名 ファッション高度専門士科 3 年 1 組 2 組	単 位	1 単位
科目コード	科目名 CAD パターンメイキングⅡ	授業期間	後期

担当教員(代表)：高津 由規子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業において工業化された設計・生産・製造のプロセスを認識し、生産技術の1分野である設計に活用される『アパレルCAD』システムを利用して、工業生産設計の流れと設計の考え方・手法・方法の理解を深め、設計システムの構造とその管理と仕組み迄の内容を行う

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション・基本操作・復習 ダーツ操作	演習	1
応用パターンメイキングVer. 1-1 スカート 製図	演習	1
応用パターンメイキングVer. 1-2 台衿シャツカラー	演習	1
応用パターンメイキングVer. 1-3 袖山展開	演習	1
応用パターンメイキングVer. 1-4 身頃	演習	1
応用パターンメイキングVer. 2-1 スキャナー・トレース 活用方法 ジャケット	演習	1
応用パターンメイキングVer. 2-2 ジャケットパターン マーキング	演習	1
応用パターンメイキングVer. 3 カットソー展開	演習	1
応用パターンメイキングVer. 4 パターンチェック	演習	1
応用パターンメイキングVer. 5 パンツ 製図 工業用パターン・課題作品	演習	3
応用パターンメイキングVer. 6 コート 製図 工業用パターン・課題作品	演習	3

【評価方法】 S～C・F評価

評価基準：学業評価 50% 授業態度 50%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

アパレルの現場で学んで来た事と日々変化しているアパレル業界の情報を取り入れながら、基礎を踏まえて応用パターンメイキングに対してもスムーズかつ対処方法を取り入れながら授業を進めています。

記載者氏名 高津由規子

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	KA3	科 名	ファッション高度専門士科	3年1,2組	単 位	2
科目コード	401200	科目名	生産管理各論	生産企画	授業期間	通年

担当教員(代表)： 加藤 紀人	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル製品を生産する上で必要となる業務について、メーカーにおける生産関連担当者の職域を中心に学ぶ。
商品企画段階で設定される、品質(Q)・原価(C)・納期(D)を高水準で成立させることを目標に、生産実務に至る準備段階から事後処理までを体系的に理解する。グローバル化に伴う海外生産の拡大も視野に入れ、今後のアパレル生産の行方を考慮の上、各自でアパレル製品の生産企画を立案する。

応用レベル

【授業計画】

- I. ガイダンス (1)
 - ① 生産に関する基礎知識
- II. 生産担当者の位置づけ (2)
 - ① アパレルメーカーにおける業務の全体像
 - ② 生産担当者の業務領域
- III. 生産実務の概要 (3)
 - ① 管理業務の概要
 - ② 生産実務の作業手順
- IV. 生産前準備 (6)
 - ① 生産計画
 - ② 材料調達
- V. 生産実行 (5)
 - ① 工場の手配
 - ② 工賃設定
 - ③ 納期管理
- VI. 生産の後処理 (2)
 - ① 増・減産処理
- VII. 入荷検査 (2)
- VIII. 海外生産の基礎知識 (4)
 - ① アパレル貿易とは
 - ② 世界のアパレル生産拠点 日本の輸出入の現状
- IX. 今後の生産管理 (1)

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 学業評価 60%、 授業姿勢 40%

主要教材図書

参考図書

その他資料 適宜プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介

アパレルメーカー生産担当者の職域について学ぶ。 文化服装学院 専任講師が担当。

記載者書名欄 加藤 紀人

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション高度専門士科 3 年 1 組・2 組	単 位	単位
科目コード	科目名 グレーディング	授業期間	半期 (後期)

担当教員(代表) :

共同担当者 : 佐久間 一夫

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づき HP 上で公開します)

グレーディングの基礎・知識・実務レベル・オペレーション操作方法の理解・習得

コマ	内 容	時間	詳細
1	ハンドグレーディング実技(切開方式一原型、後身頃)	1.5	カリキュラムの内容の説明、基礎、展開
2	ハンドグレーディング実技(切開方式一原型、前身頃)	1.5	基礎、展開
3	ハンドグレーディング実技(切開方式一原型、袖・衿)	1.5	基礎、展開
4	ハンドグレーディング実技(切開方式一原型、袖・衿)	1.5	基礎、展開
5	CADグレーディングの説明(原型、後身頃・前身頃)	1.5	CADで展開する(切開で使ったパターン)
6	CADグレーディングの説明(原型、袖・衿)	1.5	CADで展開する(切開で使ったパターン)
7	CADグレーディングの説明(原型、袖・衿)	1.5	CADで展開する(切開で使ったパターン)
8	CADグレーディングの説明(シャツ後身頃)	1.5	シャツ・ブラウスを展開する
9	CADグレーディングの説明(シャツ前身頃)	1.5	シャツ・ブラウスを展開する
10	CADグレーディングの説明(シャツ袖)	1.5	シャツ・ブラウスを展開する
11	CADグレーディングの説明(シャツ衿)	1.5	シャツ・ブラウスを展開する
12	CADグレーディングの説明(シャツルール付け)	1.5	シャツ・ブラウス・パーツ毎に展開処理する
13	CADグレーディングの説明(シャツルール付け)	1.5	シャツ・ブラウス・パーツ毎に展開処理する
14	CADグレーディングの説明(シャツルール付け)	1.5	シャツ・ブラウス・パーツ毎に展開処理する
15	学年末試験 (実技試験)	1.5	オペレーションの確認(シャツ)

評価方法・対象・比重

学年末試験・・・80% 授業・課題・宿題への取り組み方態度・・・20%

主要教材図書 東レグレーディング・マニュアル(D0・S0・T0・R0)

参考図書 文化服装学院編・グレーディング書籍

その他資料 グレーディングの説明資料、パターン、他

記載者氏名 佐久間 一夫

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	NAJ	科 名	ノアツンヨン高度専門工科3年1・2組	単 位	単位
科目コード		科目名	テキスタイル産業論	授業期間	後期

担当教員(代表)：佐藤奈央	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 ■教育目標 テキスタイルがどのように作られているのか一連の流れを理解してもらう。各産地の特徴や織物、編物、染色の種類や技法について説明しテキスタイルの知識を深める。工場への依頼方法を説明し、実際に指示書を作ってみたり企業でのものづくりを体験してもらう。
--

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
テキスタイル産業について	実習・講義	1
テキスタイルの生産方法 ・テキスタイルのプリント方法について	実習・講義	1
・インクジェットプリントのデザイン	実習・講義	1
・インクジェットプリントの工場依頼指示書作成	実習・講義	1
・シルクスクリーンプリントのデザイン	実習・講義	1
・シルクスクリーンプリントの工場依頼指示書作成	実習・講義	1
・織物の種類・素材や糸について	実習・講義	1
・平織・綾織・朱子の織物三原組織を使ったデザイン	実習・講義	1
・三原組織の工場依頼指示書作成	実習・講義	1
・ジャカード織りのデザイン	実習・講義	1
・ジャカード織りの工場依頼指示書作成	実習・講義	1
国内の産地 ・テキスタイルの種類とその産地（国内）について	実習・講義	2
各素材の原産国について	実習・講義	1

【評価方法】 授業内のレポート提出

主要教材図書 アパレル素材論
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 【特徴】 テキスタイル産業について、生産背景を説明しながら生産の流れとテキスタイルの知識と構造を理解する。 【担当教員】 繊維企業でテキスタイルデザイナーMDとして14年勤務。2021年に独立しニットブランドをスタート。企業でのテキスタイル企画、デザイン、生産を伝えられるよう努めます。
--

記載者氏名 佐藤奈央

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科3年	単 位	1単位
科目コード 101520	科目名 ニットアパレル造形Ⅱ	授業期間	後期

担当教員(代表)：下村 みち代	共同担当者：御田 昭子
-----------------	-------------

概要

ニット製品の製作工程や編立技術などを総合的に学び、アパレルの中のニットを理解できる人材を育成する。ニットに使用される素材・編地・縫製技術を商品解説と共に主に家庭用手編み機の実習を通じて理解を深める。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットアパレルの分野 ニット製造仕様書 家庭用手編み機使用方法 ゲージと度目	講義・演習	2
2	ニット素材の製品への展開 家庭用手編み機 素材各種・ファンシーヤーンの特徴	講義・演習	2
3	ニットの編み組織と柄模様の製品への展開 家庭用手編み機 基本組織柄の編み方	講義・演習	2
4	柄表現 ジャカードについて 家庭用手編み機 パンチカードによるシングルジャカード	講義・演習	2
5	シングル組織とダブル組織 編成図作成 手動横編み機 基本操作と基礎編み	講義・演習	2
6	ニット製品の縫製と付属編み 衿・裾のバリエーション リンクング実習	講義・演習	2
7	ニットビジネスの可能性と様々な分野でのニットの現状 ニット製品自由研究	講義・演習	2

評価方法・対象・比重

提出物…80% 授業姿勢・出欠席…20%

主要教材図書 アパレル生産講座⑭ニットの基礎技術 ⑮工業ニット

授業の特徴と担当教員紹介

2年次のニットの基礎をもとにニット製品を総合的に学ぶ。講義だけでなく、家庭用手編み機の編地制作や工業機である手横やリンクングなどニット生産における実際の機械を使用し理解を深める。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 下村 みち代

科コード	科 名高度専門士科3年 1組	単 位	14
科目コード KA31101710	科目名 ニットアパレル造形 (カット&ソー) 1	授業期間	2024, 18, 11~7, 12

担当教員(代表): マレイ(有)取締役 西川 真令

共同担当者: マレイ(有) 中川絵里奈

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、
使用パソコンソフト名・ボディ種類、

ピンワーク美しいシルエットV衿Tシャツとタンクトップの2型実践指導と 裏毛パーカー作図縫製仕上げ。

講義とパターン作図と縫製実習内容: #1, 2 4/18

丸編みジャージー素材の基礎知識と各種カットソーミシン縫製技術習得 Tシャツタンクトップとパーカー商品作り。

美しいシルエットの基礎知識を立体的裁断で取得

パターン作図技術、縫製、プレス、袋縫い納品までの実践指導。

カットソー丸編み概論・丸編みを中心にしたニット素材のパターン製作と縫製の基本的知識の習得。パリコレや東京コレクションでの豊富な経験と知識の情報を伝える。

裏毛パーカー 講義・平面作図・裁断 6/13 #3, 4

空グレー地(空グレー30/10綿100%裏毛とテレコ)色は変更あり

(購買ディラ生地在庫生地により)各自パーカーの平面作図の製作と、裁断。

パーカー縫製指導 #2, 3 4/23 裁断縫製準備

パーカー衿重ね合わせのフードの考え方指導

空グレー裏毛30/10の生地解説、多種フードのデザイン解説、

カンガルーポケットの縫製、テレコリブの縫製考察、

ファスナーあきも学ぶ生徒には指導

衿折伏せテープの仕上げ縫製、その他付加価値を上げる縫い方を入れた縫製指導をする

パーカー縫製 5/2 5/16 5/30 6/4 #5, 6 #6, 8

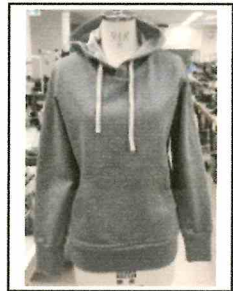
パーカー縫製実習指導 マチ針を使わない縫製指導

フーディーとカンガルーポケット、電子ホール、カバーリングミシン使用

右衿重ねのフード 芯なしポケット口の技術、チェコ印の位置の考え、

スピンテープ、洗濯絵表示の付けかた考え、リブの作り方 フーディー付けテープ縫い方、

パーカー縫製チェック製品上げ。



講義 6/13 立体的裁断でデザインと作図 裁断ダーツ無しの美しいシルエットパターンの立体的裁断の実習指導



丸編みにはW付け衿とバインダー衿が存在する その2型を教える

立体的裁断の基礎実習 衿の立体的裁断考察カッティングの指導

人体に沿ったダーツ無い美しいシルエットの着やすい作図 前身頃・後身頃が1枚のパターンで立体的裁断作図指導。

工業パターンの習得と高級感のある縫い方技術指導を教える。

縫製実習 6/14, 6/20 裁断縫製 A 班 B 班 (人数が多い場合はミシンに合わせて制限) 公開授業

マチ針を使わないで縫い上げる現代縫製工場の指導、フライス素材のパターン作図指導

高度専門科3年生は地の目を理解させた基礎知識の授業と 難度の高い縫製仕上げを原則として指導。

カットソーにおける W 付け衿とバインダー衿の基本的縫い方の習得、衿ネーム付け、バインダー始末、選択絵表示、プレス、ビニール袋詰め、検品検針の商品としての実践的商品作りの縫製指導をする。



縫製実習 縫製時 A 班、B 班別



丸胴脇縫い目が無いパターンの理解バスト脇にシワの無い美しいシルエットの T シャツ、パターンと縫製指導

W 付けの V 衿指導、2 本針振りミシンと天地仕様の指導。W 付け衿とバインダー衿縫製仕上げは縫い目なしの難度の高いバインダー始末。

袖口仕上げを含めファストファッションと違うパリコレ等を目指す高級仕立ての縫製を教える。

縫製実習指導 6/21, 7/4 縫製検品検針 プレスビニール袋詰 V 衿 T シャツとタンクトップの 2 型製品仕上げ。

提出パーカー、T シャツ V 衿、タンクトップの 3 型 評価

評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

主要教材図書

マレイの「カットソー・立体裁断・縫製」本

参考図書

その他資料 パリコレ等で縫ったサンプルや海外製品を参考見本とする

授業の特徴と担当者員紹介

特徴:

丸編みカットソーの先駆的縫製仕上げ、特許を含めた、シルエットはパリオートクチュールレベルのノーダーツの美しいシルエットの立体裁断の指導、

現在の日本人デザイナーの問題点を越えた立体裁断でのデザイン指導。

縫製はイージーな縫製ではなく クラシックな技術を含むを現代縫製のマチ針を使わない高度な縫製を簡単に教えること、一枚のパターンで作られる創造的な既製服パターンを指導すること。

実践教育としての考え、社会に出て即活用できる知識

就職した企業で使えるパターン・縫製・デザインの指導教育。

担当者員紹介:

大学卒業後文化服装学院服飾産業科2年編入学 デザイン科在学中に文化出版から川上繁三郎の服作りの依頼や山本寛斎のカンサイスポーツの仕事に任される、(株)寛斎 入社後国内チーフデザイナーでパリコレを手伝う、帰国後は(株)アルファークユービック、(株)菊池武夫でデザイナー後、1985 年マレイ(有)設立 (株)イッセイミヤケ、(株)ヨウジヤマモト、ナカノヒロミツ等のサンプルと量産を手がける、現在もギャルソン、トータ、アンダーカバー、ヨウヘイオウノ、ピアンカ、コスミックワンダー等デザイナーブランド等パリコレ活動をするデザイナーを主に手がけ、幾多の特許取得と TV ショッピング等に出店、渋谷で最も古いカットソー縫製企業。

記載者書名欄 西川真令

科コード	科 名高度専門士科3年 2組	単 位	14
科目コード KA31101710	科目名 ニットアパレル造形 (カット&ソー) 1	授業期間	2024, 4, 11~7, 4

担当教員(代表): マレイ(有)取締役 西川 真令

共同担当者: マレイ(有) 中川絵里奈

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、
使用パソコンソフト名・ボディ種類、

ピンワーク美しいシルエットV衿Tシャツとタンクトップの2型実践指導と 裏毛パーカー作図縫製仕上げ。

講義とパターン作図と縫製実習内容: #1, 2 4/11

丸編みジャージー素材の基礎知識と各種カットソーミシン縫製技術習得 Tシャツタンクトップとパーカー商品作り。

美しいシルエットの基礎知識を立体裁断で取得

パターン作図技術、縫製、プレス、袋縫い納品までの実践指導。

カットソー丸編み概論・丸編みを中心にしたニット素材のパターン製作と縫製の基本的知識の習得。パリコレや東京コレクションでの豊富な経験と知識の情報を伝える。

裏毛パーカー 講義・平面作図・裁断 4/25 #3, 4 裁断縫製準備

空グレー地(空グレー30/10綿100%裏毛とテレコ)色は変更あり

(購買ディラ生地在庫生地により)各自パーカーの平面作図の製作と、裁断。

パーカー縫製指導 5/9 5/23 #5, 6 裁断縫製

パーカー衿重ね合わせのフードの考え方指導

空グレー裏毛30/10の生地解説、多種フードのデザイン解説、

カンガルーポケットの縫製、テレコリブの縫製考察、

ファスナーあきも学ぶ生徒には指導

衿折伏せテープの仕上げ縫製、その他付加価値を上げる縫い方を入れた縫製指導をする

パーカー縫製仕上げ 5/28, 6/6 #6, 8

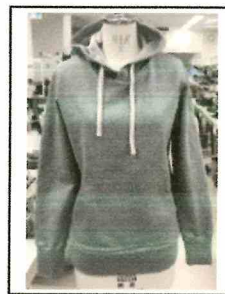
パーカー縫製実習指導 マチ針を使わない縫製指導

フーディーとカンガルーポケット、電子ホール、カバーリングミシン使用

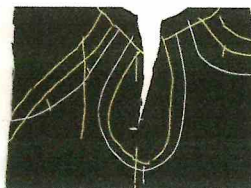
右衿重ねのフード 芯なしポケット口の技術、チェコ印の位置の考え、

スピンテープ、洗濯絵表示の付けかた考え、リブの作り方 フーディー付けテープ縫い方、

パーカー縫製チェック製品上げ。



講義 6/11 立体裁断でデザインと作図 裁断ダーツ無し of 美しいシルエットパターンの立体裁断の実習指導



丸編みにはW付け衿とバインダー衿が存在する その2型を教える

立体裁断の基礎実習 衿の立体裁断考察カッティングの指導

人体に沿ったダーツ無い美しいシルエットの着やすい作図 前身頃・後身頃が1枚のパターンで立体裁断作図指導。

工業パターンの習得と高級感のある縫い方技術指導を教える。

縫製実習 6/21, 6/29 裁断縫製(公開授業/

土曜日) A班B班(人数が多い場合はミシンに合わせて制限)

高度専門科3年生は地の目を理解させた基礎知識の授業と 難度の高い縫製仕上げを原則として指導。

カットソーにおけるW付け衿とバインダー衿の基本的縫い方の習得、衿ネーム付け、バインダー始末、選択絵表示、プレス、ビニール袋詰め、検品検針の商品としての実践的商品作りの縫製指導をする。



縫製実習 縫製時A班、B班別

丸胸脇縫い目が無いパターンの理解バスト脇にシワの無い美しいシルエットのTシャツ、パターンと縫製指導

W付けのV衿指導、2本針振りミシンと天地仕様の指導。W付け衿とバインダー衿縫製仕上げは縫い目なしの難度の高いバインダー始末。

袖口仕上げを含めファストファッションと違うパリコレ等を目指す高級仕立ての縫製を教える。

7/11, 7/12 縫製検品検針 プレスビニール袋詰

提出3型 V衿Tシャツとタンクトップ、パーカーの3型。

評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

主要教材図書

マレイの「カットソー・立体裁断・縫製」本

参考図書

その他資料 パリコレ等で縫ったサンプルや海外製品を参考見本とする

授業の特徴と担当者員紹介

特徴:

丸編みカットソーの先駆的縫製仕上げ、特許を含めた、シルエットはパリオートクチュールレベルのノーダーツの美しいシルエットの立体裁断の指導、

現在の日本人デザイナーの問題点を越えた立体裁断でのデザイン指導。

縫製はイージーな縫製ではなく クラシックな技術を含むを現代縫製のマチ針を使わない高度な縫製を簡単に教えること、一枚のパターンで作られる創造的な既製服パターンを指導すること。

実践教育としての考え、社会に出て即活用できる知識

就職した企業で使えるパターン・縫製・デザインの指導教育。

担当者員紹介:

大学卒業後文化服装学院服飾産業科2年編入学 デザイン科在学中に文化出版から川上繁三郎の服作りの依頼や山本寛斎のカンサイスポーツの仕事に任される、(株)寛斎 入社後国内チーフデザイナーでパリコレを手伝う、帰国後は(株)アルファークユービック、(株)菊池武夫でデザイナー後、1985年マレイ(有)設立 (株)イッセイミヤケ、(株)ヨウジヤマモト、ナカノヒロミツ等のサンプルと量産を手がける、現在もギャルソン、トータ、アンダーカバー、ヨウヘイオウノ、ピアンカ、コスミックワンダー等デザイナーブランド等パリコレ活動をするデザイナーを主に手がけ、幾多の特許取得とTVショッピング等に出店、渋谷で最も古いカットソー縫製企業。

記載者書名欄 西川真令

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KA3	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	1単位
科目コード	504330	科目名	コンピューターグラフィックⅢ	授業期間	(前期)

担当教員(代表)：高橋 翼	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

Adobe Illustrator を使用した精密な製品図の作成、企画段階での資料構成を学ぶことにより、デザイン表現、プレゼンの表現力の向上を目的とする。その他にデザインノートの作成や図案などの柄表現においても高いスキルの習得を目指す。

【授業計画】

●使用ソフト

- ・ Adobe Illustrator / Photoshop

●指導内容

- ・ ベースイラスト作成（顔・体）：ポートフォリオ、企画書など利用できるベースイラストを作成する。
- ・ 既製品服の再現（模倣）：各自、好きなブランドの服を選びトレース、素材やステッチなど高い再現性を目指す。
- ・ テーマ別企画提案書：これまでに制作した服を選び製品図に起こす
- ・ プレゼン：これまでの作成物を発表・提出を行う

●提出課題

- ・ ベースイラスト
- ・ 既製品服の再現
- ・ テーマ別企画提案書（1）
- ・ テーマ別企画提案書（2）

【評価方法】

評価基準：出席評価を前提とし、課題提出内容を加味し、総合的に評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

製品図などの表現方法を学ぶと共に現場で通用する企画書、指示書、依頼書など一連の流れを身に付けられる。

高橋 翼

デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、アウトドアスポーツメーカーデザイナーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サステナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。

記載者氏名 高橋 翼

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科3年	単 位	1
科目コード 300950	科目名 アクセサリーa	授業期間	後期

担当教員(代表)：中川 清美	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み服とのコーディネートを意識したオリジナルの高いアートアクセサリー制作、そして服作りのヒントにと意識している。</p>
--

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> アートアクセサリー鑑賞レクチャー 参考作品の素材説明とアイディア提案 樹脂の扱い方 アメリカンフラワーの扱い方説明 アートアクセサリー制作実習 アクリル絵の具、助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法の説明・中川作品鑑賞 アートアクセサリー制作実習 アンティークボタン ブレードの鑑賞を通して19世紀モードについて アートアクセサリー製作実習 アールヌーボ・デコのジャンクアクセサリー鑑賞を通して 20世紀モードについて アートアクセサリー製作実習 仕上げ シルバー粘土、リング制作実習 シルバー粘土について、特性・扱い方の説明 制作実習 シルバー粘土リング制作実習 作品について仕上げ・説明
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>フリーイラストレーター、コスチュームアクセサリー作家として幅広く活動しつつ、文化服装学院にてアートアクセサリー／イラストレーションの講師をつとめる。</p> <p>世界各国のアクセサリー資料の紹介、いろいろなアクセサリー素材、道具類の説明を含め、デザインの幅を広げ、ファッションとコーディネート提案ができるような授業内容</p>

<p>記載者書名欄 中川 清美</p>

科コード 科目コード	科 名 高度専門士 科3年 科目名 造形演習	単 位	1
担当教員(代表)：牧かほり		共同担当者：	
<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>発想－表現－コミュニケーション の3つを連動させながらクリエイションの力をつける。</p> <p>特に自分自身を見つめ、掘り下げ、何を創り、何を発信していくのか、に気づいていく時間です。 無心に手を動かし創作し、それら表現されたものを第三者へ「伝える」ための方法（手段）を研究する時間でもあります。</p>			
<p>授業概要＝</p> <p>自分の名前(指名=使命)はミッションである!という考えを元に、 自分の名前がタイトルの造形物を作り、平面構成、コラージュ作品、再び立体作品へと展開</p> <p>価値観カード:自分が何を大切な価値として生きているか、また創作しているかを可視化していくゲーム</p> <p>右脳で描く:右脳を活性化するためには左脳を休ませること。逆さまに絵を描いたり、1ミリ1秒の視点の移動で、描いている手を見ないで表現していく、などの演習。</p>			
<p>評価方法</p> <p>提出物／A,B,C,F</p>			
主要教材図書			
参考図書			
その他資料			
記載者書名欄			

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科 名 ファッション高度専門士科3年	単 位	1単位
科目コード	科目名 アパレル染色演習Ⅱ	授業期間	半期（前期）

担当教員（代表）： 吉村とも子	共同担当者： 増田 美砂希
-----------------	---------------

【授業概要・到達目標・レベル設定】

1、2年次で学んだ素材および染色の知識や技術をもとに、応用的な浸染・捺染法を習得する。
実習により発展的なテクスチャー表現を身に付け、アパレル作品の企画、制作力の強化につなげる。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト

- | | | |
|----------------------------------|---------|---------|
| 1. ガイダンス | (0.5コマ) | (講義) |
| ・ 授業内容について | | |
| 2. 酸性染料の三原色混色によるカラートライアングル表の作成 | (1.5コマ) | (実習) |
| ・ 酸性染料の特徴 | | |
| ・ 酸性染料の浸染法 | | |
| ・ 三原色の配合比率で作成できる色 | | |
| 3. 試し染め | (2コマ) | (講義・実習) |
| ・ 計画した色に近づけるための染料混色実習 | | |
| 4. 実物染色 | (2コマ) | (講義・実習) |
| ・ 試し染めで得たデータに基づく本番用の布（製品含む）の染色 | | |
| 5. 簡易スクリーンプリント | (4コマ) | (講義・実習) |
| ・ スクリーンプリントの仕組み | | |
| ・ 量産プリントの版式と生産工程 | | |
| ・ 顔料糊の印捺と仕上げ方法 | | |
| ・ 顔料プリントと特殊プリント加工との比較 | | |
| 6. 天然染料による染色 | (4コマ) | (講義・実習) |
| ・ 天然染料の種類と特徴 | | |
| ・ 天然染料の色素抽出法、浸染法、媒染法、被染物：絹・毛動物繊維 | | |
| ・ 被染物：植物繊維での大豆たんぱく質前処理による染色 | | |

評価方法・対象・比重

S～C・F評価（学業評価 70%、授業姿勢 30%）

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局
参考図書	
その他資料	

授業の特徴

アパレル染色演習Ⅰで学んだ基礎的な染色法をもとに、応用的な浸染法（無地染め）・捺染法（模様染め）を実習する

担当教員紹介

吉村とも子：文化女子大学（現文化学園大学）卒業。文化服装学院勤務、現在講師。

増田 美砂希：文化服装学院卒業。文化服装学院勤務、助手

記載者氏名 吉村とも子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科 名 ファッション高度専門士科3年	単 位	2単位
科目コード	科目名 ファッション英会話Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：増田和香子	共同担当者：アラン マーティンセン
----------------	-------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】ファッション分野の様々な場面をテーマにしたアクティビティを通して、口頭での運用力強化を図ることを主な目標とする。2年次で確認した英語の基礎を発展させ、より具体的かつ身近な物事を適切に表現できるようにする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Self-introduction	演習	1	Number	演習	1
Fashion Items	演習	1	Dealing with Complaints	演習	1
Fashion Items (2) and Patterns	演習	1	Pop Displays & Company Slogans	演習	1
Materials and Laundry Symbols	演習	1	Writing a Resume	演習	1
Body Part	演習	1	Job Interview	演習	1
Describing Fashion	演習	1	Working as a dresser	演習	1
My Life Plans	演習	1	Fashion show staff and Prize Winners	演習	1
Adjectives Related to Fashion and History of Fashion	演習	1	Floor Map and Giving Directions	演習	1
Face Parts	演習	1	Skimming & Scanning	演習	1
Sewing Tools and how to make a skirt	演習	1	Job Openings	演習	1
Sewing Tools and how to make a skirt(2)	演習	1	The Future Tense: New Year's Resolution	演習	1
The art of giving a presentation	演習	1	Preparation for the final presentation	演習	1
Working as a Salesclerk	演習	1	Presentation 3:My Creation	演習	1
Person I respect	演習	1	Summary	演習	1

【評価方法】
学業評価 (50%)、 授業姿勢 (50%)

主要教材図書	<i>Essential English for Fashion Students</i>
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介 コミュニケーション力を養うため可能な限りペアワーク・グループワークの機会を設ける

記載者氏名 増田和香子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科 名 ファッション高度専門士3年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 フランス語 III	授業期間	通年

担当教員(代表) : ジル・ランドゥーチ Gilles LANDUCCI	共同担当者 :
---	---------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>フランス語を1年半学んだ学生を対象としたクラス運営を目標とする。フランス語独特の音に慣れ、基本的な文法・動詞の活用ができるようにする。またフランス語で簡単に日常的にかかわる挨拶ができるように、また初歩のコミュニケーションをフランス語でできることを目指す。</p>

<p>【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>
--

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション	演習	1	間接目的語	演習	1
コース説明・導入	演習	1	強勢形	演習	1
家族を紹介する	演習	1	Se réveiller 動詞使い方と活用	演習	1
乗り物	演習	1	Se coucher 動詞使い方と活用	演習	1
Aller + 国名の場合	演習	1	一日のスケジュール	演習	1
Aller 動詞の未来形	演習	1	出身を紹介する	演習	1
Pouvoir 動詞	演習	1	比較級	演習	1
Vouloir 動詞	演習	1	最上級	演習	1
Devoir 動詞	演習	1	服	演習	1
Avoir + Être 動詞の過去形	演習	1	色と形とパターン	演習	1
フランス紹介	演習	1	服を買うか売るか	演習	1
フランス紹介	演習	1	復習	演習	1
復習	演習	1	学生の発表	演習	1
直接目的語	演習	1	フランス紹介	演習	1

<p>【評価方法】 クラス活動への参加状況、まとめのテストなどを総合して評価する。</p>

<p>主要教材図書 Le français à la carte</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料 プリント、映像</p>

<p>担当教員紹介 ポール・ヴァレリーモンペリエ大学で映像芸術としての映画を研究(修士号取得)。18年間の日本でのフランス語教師経験をもつ。『もって歩くフランス語 BOOK』(西東社/2006年)の執筆・監修を担当。</p>
--

<p>記載者氏名 ジル・ランドゥーチ</p>

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション高度専門士科 3 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 中国語 Ⅲ（選択）	授業期間	通年（ ）

担当教員(代表)：鯨坂 江理	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

応用力養成：疑問詞を用いて問答式の促進を行います；夫々に合う日本語例文を示し、中国語への転換及び会話練習をします；中検2級基準。

会話練習：日常シーンに即した語彙、及び衣食住行等の中国文化と外国文化の結びつき方を習います；社会環境的なムードによって生じた異なる言語表現を習います。

服装関連：ファッション関連用語・工場用語に関する中国語語彙を習います。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

一、中国語の構文法

項目1：中国語らしい会話の表し方 （能願動詞） 下記、計7コマ

講義内容：動作・行為の方向と結果を示す複合動詞(動詞+補語)について学習し、動詞の表現力をさらに上げていきます。また、意思、願望、予想、禁止、可能、許可などの気持ちを表す方法を習い、中国語らしい表現を身につけます。

項目2：文章の修飾 下記、計9コマ

A：強調文（近接未来・完了した状況の強調）

B：名詞の修飾語

C：感嘆文、概数（概数の表し方）

D：接続詞1（並列/比例/繰返の表し方）

E：接続詞2（継続/反転/強調などの用法）

F：複文（因果/連合/主従複文）、その他（疑問の反復/二重否定/反語）

講義内容(前年度引き続き)：応用力を向上するため、中国語の発想の基本的なものは何かを分析し、いくつかのパターン（並列・比例・繰返・継続・反転・強調・因果・複文）にまとめ、それぞれに合う日本語の例文を示し、中国語への転換練習及び会話練習を行います。

二、ファッション中国語

項目：ファッション中国用語の習得と応用 下記、計6コマ

A：服飾関連用語、製造関連用語

B：工場関連用語

参考資料（別途作成）

講義内容：服飾関連用語・製造関連用語に関する中国語基本知識の習得を伴い、さらなる中国語で製造フローチャートの作成を練習します。

三、日常会話

項目：上手に発音できる方法の習得 下記、計6コマ

A:問答式で会話を進めていきます。

B:自己紹介を通して、短文作成を練習します。

内訳：呼びかける・別れる時、気持ちを表す、返事をする・聞きなおす、洗顔・歯磨き、掃除・洗濯、買い物に行く、電話、会社・コンピュータ使い、何時に帰る、お帰りなさい、夕食、お休みなさい等

【評価方法】 授業内のミニテスト（グループ総合レポート提出 30%）；会話・発音レベルチェック（50%）； 授業出席率（20%）

主要教材図書 前期「中国語入門」、後期「中国語応用」 鯨坂江理編集

参考図書 「デイリーコンサイス中日辞典」 三省堂 杉本達夫他著、補足プリント（単語/構文サンプルなど）

その他資料 「文法からの中国語入門」・「作文からの中国語入門」 光生館 香坂順一著、「トラベル中国語会話」

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴:図解にて文法説明。生産および製造用語・日常会話を中心。

担当教員：理工系・修士。1987年～2002年(株)メイテックなど技術開発社にてプログラマーとして勤務。2005年以降現職。

記載者氏名 鯨坂 江理

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位	1単位
科目コード 947300	科目名 コラボレーション c.d	授業期間	通年

担当教員(代表)：朴澤 明子	共同担当者：稲葉 りさ
----------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

3年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究し、外部講師、企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。あわせて、ビジネス戦略にあわせた作品制作や活動を実施する。
個性を生かした表現方法を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

授業では経験出来ない、企業やデザイナー、アーティストとの共同制作・作業及び実務体験

・過去の例として

1、JFW コラボレーション (フォルムプレゼンテーション)

産地との素材協力を得て作品制作

2、VF コーポレーションとのコラボレーション

世界最大級のライフスタイルアパレル企業との企画提案

3、各企業、イベントなどのコラボレーション活動

【評価方法】

1単位分出席の参加と活動でP評価

授業の特徴と担当教員紹介 高度専門士科の専任講師による服飾造形技術とデザイン指導

主要教材図書

なし

参考図書 参考図書 各自テーマに基づいた参考図書

その他資料

記載者氏名 稲葉 りさ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位	2単位
科目コード 980230	科目名 特別講義・キャリア開発Ⅲ	授業期間	通年
担当教員(代表)： 朴澤 明子		共同担当者：稲葉 りさ	

【授業概要、到達目標・レベル設定】

将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。
デザイナーブランド企業・デザイン事務所・アパレルメーカー・テキスタイル企業・出版等関連企業・商社などを対象として各専門分野の方々との出会いを多くし物事に対する洞察力を養う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、テキスタイルデザイン・・・・・・・・田内 待子 (2)
デザイナーとしての素材のこだわり
- 2、テキスタイル情報・・・・・・・・川上 淑子 (2)
素材及びトレンド解説
- 3、トレンド情報・・・・・・・・織研新聞社 青木 規子 (1)
コレクション、トレンド情報
- 4、トレンド情報・・・・・・・・WWD 五十君 花実 (1)
コレクション、トレンド情報
- 5、毛皮について・・・・・・・・梨本 チエ子 (2)
作品製作における知識とテクニック
- 6、スタイリストの世界・・・・・・・・野田 晶 (1)
スタイリストの実務内容
- 7、クリエイターとしてのデザイン企画・・・・・・・・岡本 UG (1)
様々な職種へのアプローチ
- 8、ウェディング企業デザイナーの役割・・・・・・・・齋藤 葉月 (1)
ファッションディレクターの仕事
- 9、デザイナーの役割・・・・・・・・大江 仁 (1)
ブランドディレクションについて
- 10、デザイナーの役割・・・・・・・・寺田 典夫 (1)
デザイナーと生産管理の仕事
- 11、海外コンテストについて・・・・・・・・佐藤 百華 (1)
コンセプト立てからポートフォリオ制作について
- 12、舞台衣装の世界・・・・・・・・渡邊 里香 (1)
衣装デザイナーの仕事
- 13、機能服について・・・・・・・・佐古 かがり (1)
ユニフォームの知識
- 14、ビジネスコミュニケーション・就職対策・・・・・・・・森 薫子 (3)
電話対応、訪問と対応、模擬面接

15、企画・デザインすること・・・・・・・・・・佐谷 真樹（4）

企画デザインの手法について

16、コートのデザインについて・・・・・・・・・・朝日 真 （1）

様々な袖や衿などのディテール解説

17、プロのカッティング研究・・・・・・・・・・樋口 吉徳（2）

パタンナーとしての読み解く力

18、衣装の仕事・・・・・・・・・・倉岡 正美 氏 （1）

アイドル衣装の実務内容

19、YEAH RIGHT!! 時代性とリメイクコレクション・・・・・・・・河村 慶太 （1）

古着仕入れとリメイク制作について

20、ラグジュアリーブランドの実務・・・・・・・・・・小寺沢 ミチル（1）

海外で働くための Know how

【評価方法】

出欠・感想文・提出物による評価 P 評価

授業の特徴と担当教員紹介

主要教材図書

なし

参考図書

その他資料

記載者氏名 稲葉 りさ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA3	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位	2単位
科目コード 945010	科目名 インターンシップⅠa・b（自由選択）	授業期間	通年

担当教員（代表）： 朴澤 明子	共同担当者： 稲葉 りさ
-----------------	--------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。
審査を受けて希望するデザイナーブランド企業・デザイン事務所・アパレルメーカー・テキスタイル企業・出版等関連企業も対象として実務体験をする。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

授業では経験出来ない、企業やデザイナー、工場や現場での作業及び実務体験

インターンシップⅡa ・ Ⅱb

- ・ 期間（基本は2週間）、時期は研修目的、受け入れ先の状況により決める。
- ・ 研修中は指導教員と定期的にミーティングを行い、受け入れ先での研修内容、進捗状況などを報告しアドバイスを受ける。

【評価方法】

2単位分出席の参加及び、レポート提出でP評価

授業の特徴と担当教員紹介

主要教材図書

なし

参考図書

その他資料

記載者氏名 稲葉 りさ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA4	科 名 ファッション高度専門士科 4 年	単 位	1 2
科目コード	科目名 アパレル造形 Ⅲ	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)： 藏野 亜矢子	共同担当者： 内田 智恵、喜屋武 敏明
------------------	---------------------

教育目標・レベル設定

4年生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究するとともに、広い意味で自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品制作のプロセスの中で個々の目的に応じて個性を生かした表現・テクニックの育成をする。

授業概要

アパレル造形 論	01531・01532 (ⅢA・ⅢB)	前期	1 単位	後期	1 単位
アパレル造形 演習 デザイン	01671・01672 (ⅢA・ⅢB)	前期	2 単位	後期	2 単位
アパレル造形 演習 実技	01871・01872 (ⅢA・ⅢB)	前期	2 単位	後期	2 単位
アパレル造形 ドレーピング	01771・01772 (ⅢA・ⅢB)	前期	1 単位	後期	1 単位

1、 プライベートコレクションPart I・II (前期・後期)

・ 6～10体製作・・・デザイン・パターン・実物制作・発表 (ショーまたは展示)

2、 ドレーピング (前期・後期)

・ パンツ	(前期)	9AR レギュラーパンツボディ
・ 変わり袖のジャケット (キモノスリーブ)	(前期)	文化ヌードボディ
・ コート	(後期)	文化ヌードボディ
・ ニューフォーマル	(後期)	文化ヌードボディ

3、 コンテスト作品

評価方法・対象・比重

- ・ アパレル造形論・・・ポートフォリオ HW試験 (90%) プレゼンテーション (10%)
- ・ デザイン・・・制作作品 (80%) 実技試験 (20%)
- ・ 実技・・・制作作品 (100%)
- ・ ドレーピング・・・課題 (70%) 実技試験 (20%) プレゼンテーション (10%)

主要教材図書

文化ファッション体系、服飾造形講座2「スカート・パンツ」アパレル生産講座「立体的裁断基礎・応用編」
服飾造形講座5「コート」

参考図書 ファッション情報誌、WWD、コレクション映像 他

その他資料 各種実物標本、各種参考オリジナルテキスト他

記載者書名欄 藏野 亜矢子

科コード	科 名高度専門士科4年1組	単 位	14
科目コード	KA41101720 科目名 ニットアパレル造形 (カットソー)	授業期間	2024, 9/24~2025, 1/21

担当教員(代表): マレイ(有) 取締役 西川 真令

共同担当者: マレイ(有) 中川絵里奈

教育目標・レベル設定など

カットソーの縫い見本帳作り (社会で役立つ企画資料)

編立てリブのポロ衿シャツ仕立て

カットソーデザインの卒業制作 パターン〜縫製・製品仕上げまでの指導協力

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、

講義と実習内容

丸編みのニット素材での美しいシルエットのカットソー縫製知識

各種ミシンの縫製技術の理解と見本帳作り。

ポロ衿シャツのデザインから作図と縫製実習 高度なレベルの技術を入れた製品作り

カットソー商品の卒業制作への協力

丸編みデザイン概論...パリコレや東京コレクションの比較考察

講義 9/24

美しいシルエットを作る基礎的な考え方

丸編みを中心にしたニット素材のパターン製作と縫製知識の取得。

① カットソーミシンの「カットソー縫製見本帳」作り

縫製実習 10/8

デザイン縫製のイメージの基礎となる各種ミシン縫製技術の見本帳作り

企画時のデザインに役立つ各種特殊ミシンのカットソー縫い見本帳作り

縫製仕様書提供

② 綿糸縫い製品染めポロ衿シャツ作図と縫製...

作図 10/22

バストダーツ無しの美しいシルエット・パターン製作の習得

編立衿リブ仕立て、1枚パターンで作る上下前立て作りと片玉・両玉縁胸ポケット

クラシックスリット等ハイレベルな縫い方指導。

縫製 11/12 11/26

製品染め企画としてオール綿糸縫い糸仕様、

③ 卒業制作のカットソーにおける縫製技術のアドバイスとチェック。

縫製 12/10 1/21, 1/29 予定



評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

部分縫い、製品染めポロシャツ、ドレスの3点縫い上げ

主要教材図書「カットソー・立体裁断・縫製」編入生購入

その他資料 パリコレ等のサンプルと縫製見本の解説

記載者書名欄

西川真令

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA4	科 名 ファッション高度専門士科 4 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 アパレル染色演習Ⅲ	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：真田玲子

共同担当者： 増田美砂希

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレルデザインを行う上 重要である素材の染色加工に関する専門知識を養う。

理論・技法・工程など実技を通し習得する。 時代に沿った 各種表現方法を分析し構成する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ガイダンス 授業内容 課題説明	16	サンプル制作や アパレル用素材の準備
2	テキスタイル商品 参考作品の紹介	17	卒業制作コンテスト等の素材作り
3	シルクスクリーン（製版）	18	〃
4	〃	19	習得した技法を駆使、目的に沿った生地を制作
5	シルクスクリーン印捺にて箔・フロック・発泡加工	20	〃
6	〃	21	作業工程を見直し 必要量の生地を制作する
7	布地の造形要素の理解オパール加工実験 セルロース編	22	〃
8	〃	23	〃
9	布地の造形要素の理解オパール加工実験 アルミ溶解	24	〃
10	〃	25	〃
11	織編み以外の面、生地の構成を考察 フリーレース	26	〃
12	〃	27	染色加工工程 製品図などファイリング・
13	藍抜染加工 手描き スクリーンプリント	28	作品発表
14	〃	29	
15	オリジナルテキスタイル 企画制作 デザインワーク	30	

評価方法・・

①試験0% ②課題提出70%③授業姿勢10%④出欠席20%⑤その他0%による総合評価

主要教材図書

参考図書

その他資料 各種技法の作業工程 レシピ配布

授業の特徴と担当教員紹介

真田玲子 企業におけるテキスタイルデザイナーの経験をもとに繊維素材の実用性、アパレルデザインにおける必要な図案や素材との調和など染色加工の企画制作を指導。

記載者氏名 真田玲子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KA4	科 名	ファッション高度専門士科4年1～3組	単 位	2 単位
科目コード		科目名	テキスタイル企画演習	授業期間	通年

担当教員(代表)：飯塚 有葉

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

デジタルプリント機器を利用した布地制作を通してテキスタイルの知識・理解を深める。アパレルに利用されるテキスタイルを企画するという視点から、主にプリントの企画をたて、プレゼンテーションする技術・能力を身につける。

【授業計画】

- デジタルプリントの概要：講義 1コマ
 - ①デジタルプリントの概要
 - ②様々なプリント手法とその特徴
- Illustratorでの柄作成：講義・実習 3コマ
 - ①基本柄の作成
 - ②よく使用される柄の作成方法
 - ③Photoshopへの書き出し方法
- プリント企画：講義 1コマ
 - ①プリント企画について
 - ②ターゲットの設定・テーマ・コンセプトの確立・カラーイメージについて
- デジタルプリントによるオリジナルテキスタイルの作成企画マップの作成：講義・実習 6コマ
 - ①Photoshopを使った送りつけの方法
 - ②画像合成の方法
 - ③転写プリント・ダイレクトプリントによるサンプル作成
 - ④写真・デザイン画へのマッピング方法
- プリント生地仕上げ：実習 1コマ
- ハーフステップ柄の作成方法：講義・実習 8コマ
 - ①ハーフステップ柄の特徴
 - ②ハーフステップ柄の作成
- 企画プレゼンテーションの作成：講義・実習 7コマ
 - ①Power Pointの基本的な使い方
 - ②企画プレゼンテーションの作成
 - ③プレゼンテーション動画の作成
 - ④発表・講評

【評価方法】

学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書

参考図書

その他資料 Adobe Photoshop CC2024/Adobe Illustrator CC2024/ Microsoft Power Point2019

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際にPCを操作しながらテキスタイルデザインをしていく授業です。担当教員は、デジタルプリント・テキスタイルデザインを専門として、プリント以外にも手紡ぎ・手織りの技法について研究しています。

記載者氏名 飯塚 有葉

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション高度専門士科 4 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 3DCAD II	授業期間	前期

担当教員(代表) : 宮澤 国博	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

3DCAD の授業時間内では取り入れることができない基本操作方法や応用的な操作方法、より 3DCG としてリアルに表現するための手法を説明・実習する。各自のイメージを 3DCG として表現できるスキルを身につけることを目標とする。

【授業計画】

使用ソフト : Clo Enterprise

I. ジーンズ (4 コマ)

- ① 基本操作の復習
- ② CLO を使用したパターン作成ツールの使用方法
- ③ 簡易的な副資材 (バックル) 作成
- ④ 3D データのインポート、エクスポート
- ⑤ ベルトパターンの作成
- ⑥ 副資材 (バックル) の使用方法

II. ダウンウェア (1 コマ)

- ① ダウンツールの使用方法

III. ウェストゴム (1 コマ)

- ① ElasticFabric を使用したゴムの挿入
- ② 粒子間隔の部分調整

IV. ポーズの調整 (1 コマ)

- ① アバターポーズの調整方法

V. マフラー (1 コマ)

- ① 効率的な結び方

VI. バッグ (1 コマ)

- ① バッグ組み立ての方法
- ② Fabric の側面設定と見せ方

VII. テキスタイル (1 コマ)

- ① xTex の使用方法
- ② TextileGenerator の使用方法

VIII. モードコピー (4 コマ)

- ① 各自コレクションなどから 1 ルック選び、パターン作成から CG 出力まで行う
- ② 各自のデザインに応じた操作方法の説明

【評価方法】

提出物 (各回のデータ 40%、平常点 10%、モードコピー 50%)

出欠席、授業への取り組み 10%

主要教材図書 私製テキスト

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル 3DCAD に関連する応用的なソフトウェアの使用方法と CG 表現方法を習得する。

文化服装学院専任講師が担当

記載者氏名 宮澤 国博

2024度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名ファッション高度専門士科①1組, ②2組, ③3組	単 位	1 単位
科目コード	科目名 生産管理論・製品企画（選択）	授業期間	前期

担当教員(代表)： 副島 恵

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業概要>製品(商品)企画・生産に必要な知識,ルールを学習し、書式で理解、言語化、サンプル作成を実践する。
到達目標>グループ内でよくコミュニケーションし企画をまとめる事。実際に中国工場にサンプル依頼する事。
レベル設定>販売可能なレベルの指示ができ、製品(商品)サンプルが指示通り上がってくる事。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	内容	日程①	②	③
① オリエンテーション (PLAN)	講義・実務	1	前期の全体像の説明と MD PLAN について	4/9	4/9	4/11
② ブランディング (MD 論)	講義・実務	1	解説後実際にグループに分かれて実務	4/16	4/16	4/18
③ SALES 会議 (価格と数量)	講義・実務	1	解説後実際に分析し、座標に落とし込む	4/23	4/23	4/25
④ DEIGN 会議(デザインとは?)	講義・実務	1	解説後実務・名刺デザイン・MAP・絵型	4/30	4/30	5/2
⑤ 生産会議 (生産管理論 4 大要素)	講義・実務	1	講義後・洗濯ラベル・パターン注意点	5/7	5/7	5/9
⑥ 素材論・トワルチェックについて	講義・実務	1	解説後・作成するアイテム素材を仮選定	5/14	5/14	5/16
⑦ 品質・原宿カケン訪問	企業訪問	1	公的検査機関訪問・試験場訪問	5/21	5/21	5/23
⑧ 仕様書・付属表・洗濯ラベル	講義・実務	1	1st サンプル用仕様書作成	5/28	5/28	5/30
⑨ 素材メーカー訪問	企業訪問	1	実際に素材メーカー訪問・商談形式	6/4	6/4	6/6
⑩ トワルチェック・仕様書確認	講義・実務	1	実仮縫いチェック・仕様書反映	6/11	6/11	6/13
⑪ 工場との確認事項・品質について	講義・実務	1	メールでのやり取り・1st 仕様書確認	6/25	6/25	6/27
⑫ 1st サンプル依頼準備	講義・実務	1	サンプル依頼の為の準備と発送	7/2	7/2	7/4
⑬ 物流・販売注意事項・販路	講義・実務	1	撮影・販売方法・シミュレーション	7/8	7/8	7/10
⑭ 1st サンプルチェックと BULK	講義・実務	1	1st サンプルチェックと BULK 仕様書について	9/10	9/12	9/12
⑮ 商品プレゼンテーション	講義・発表	1	各グループ 作成商品のブランド・商品説明	9/24	9/26	9/26

【評価方法】学業評価・商品完成度 50% (製品の企画から製造工程と生産管理に必要な事項が理解できたかどうか、サンプル完成度)
授業姿勢・グループ貢献 50% (出欠とチーム内でコミュニケーションして、自分の担当箇所が予定通りできたかどうか)

主要教材図書 ; オリジナルテキスト

参考図書 ; 随時必要文献、必要 UP DATE 情報

その他資料 ; 特許庁HP、校外授業予定 ; 生地メーカー (フジサキテキスタイル)、検査機関 (原宿カケン)

授業の特徴と担当教員紹介 ; PLAN+D0+ SEE+ GO (企画から実構築+確認+再構築+進行)

記載者氏名 ; 副島 恵 (9/APR/ 2024)

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KA4	科 名	ファッション高度専門士科 4 年	単 位	2 単位
科目コード	504340	科目名	コンピューターグラフィックⅣ	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 高橋 翼	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

Adobe Illustrator を使用した精密な製品図作成の他、実務レベルでの企画書、PANTONE によるカラーリング選定、仕様書、副資材依頼書、デザインノート作成などひと通りの作業をこなし、社会に出て即戦力として通用するスキルの習得を目指す。

【授業計画】

●使用ソフト

- ・ Adobe Illustrator / Photoshop

●指導内容

■前期

- ・ プライベートコレクション : 製品図を起こす (3ルック)
※他授業との連動課題とする。
- ・ ポートフォリオチェック

■後期

- ・ プライベートコレクション : 資料一式の作成
コンセプト、カラー、デザイン画、製品図/SKU、デザインノート、依頼書の作成

●提出課題

- ・ プライベートコレクション製品図 (3ルック)
- ・ プライベートコレクション企画書一式

【評価方法】

評価基準 : 出席評価を前提とし、課題提出内容を加味し、総合的に評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

製品図などの表現方法を学ぶと共に現場で通用する企画書、指示書、依頼書など一連の流れを身に付けられる。

高橋 翼

デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、アウトドアスポーツメーカーデザイナーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サステイナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。

記載者氏名 高橋 翼

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12054	科 名	ファッション高度専門士科	4 年	単 位	単位 1
科目コード	304200	科目名	雑貨企画		授業期間	(前期)

担当教員(代表)：前田 哲緒

共同担当者：

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
服飾雑貨(バッグ)の企画・生産までの流れ。ブランディング(メンズ・レディース)方法。素材の種類、説明。
デザイン、仕様書作成、図面作成、サンプル依頼

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内容
1	ファッション、アパレル業界について
2	企画、デザインプロセスについて
3	バッグの素材 皮革、合皮、雑材等
4	バッグの附属 金具、ファスナー等
5	BAGの企画、デザインの実習
6	図面作成、仕様書の作成
7	↓
8	トワール作成
9	↓
10	トワール チェック
11	↓
12	MAP、企画書作成
13	MAP、トワールによるプレゼン
14	ビジネスのあり方について ブランディング、法令等

評価方法・対象・比重

授業態度、出席率 50% 提出物 50%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業での MD やオリジナル商品企画やアパレル企業の雑貨企画のコンサルティング等の経験をもとに、服飾雑貨(バッグ)の企画・生産。ブランディング(メンズ・レディース)の実践的授業を実施

記載者氏名 前田 哲緒

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FK4	科 名 ファッション高度専門士科4年	単 位	1
科目コード	科目名 コラボレーションb（自由選択）	授業期間	通年

担当教員（代表）： 藏野 亜矢子	共同担当者：内田 智恵、喜屋武 敏明
------------------	--------------------

教育目標・レベル設定

4年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求し、外部講師・企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見する。また、創造性の領域を広げ個性を生かした表現方法を身につける。

授業概要

授業では経験出来ない、企業やデザイナー、アーティストとの共同制作・作業及び実務体験

1、エプソン×ファッション高度専門士科4年

プリント企業との素材、技術協力を得て作品制作

2、ロレアルコラボレーション

卒業制作ショーにおけるヘアメイクの企業の協力によるコラボレーション

3、その他

評価方法・対象・比重

1 単位分出席の参加でP評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 藏野 亜矢子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科4年	単 位 2
科目コード 503401 503402	科目名 カメラワーク A・B（選択）	授業期間 年間

担当教員(代表)：尾島 敦	共同担当者：東原 昇平
---------------	-------------

教育目標・レベル設定など

前、後期を通じて、4年間を通して学んだ技術を駆使し制作した作品（服）を写真を撮ることによって、新たな自己表現力を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1: 写真を撮る習慣をつけることで、自分の作品に対する写真的アプローチを考察する。
- 2: 写真的アプローチするため、カメラの基礎知識を習得。
- 3: 照明機材を使用して、より高いレベルで撮影出来るように操作を学ぶ。
- 4: Photoshop での画像調整を学習
- 5: 後期課題作成企画の説明
- 6: 企画書に基づき撮影内容について個別に打ち合わせ。
- 7: 撮影期間中はクラスで協力し合いスムーズな撮影現場での行動を学ぶ。
- 8: 撮影した写真を元に各々が自由に制作。

評価方法・対象・比重

出欠 制作物

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 尾島敦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション高度専門士科 4 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 ファッション英会話 IV	授業期間	通年

担当教員(代表)：増田和香子	共同担当者：三村典召
----------------	------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

中・上級者向けのレベル設定とする。前期と後期の2パートに分け、前期では英語で自分の卒業制作について正確にわかりやすく相手に十分に伝わるようなプレゼンテーションができることを目指す。さらには、英文で書かれたまとまった文章には「型」が存在する。これをふまえてライティング、スピーキングといったアウトプットに特化し、論理的な思考力ができるようトレーニングをする。後期ではビジネスシーンを想定し、メールの書き方や履歴書等、自分に即したアウトプットをスピーキング、ライティングで実践する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Orientation	演習	1	求人票	演習	1
"プレゼンテーションとは？ レベルチェックテスト"	演習	1	海外著名デザイナー	演習	1
Self-introduction	演習	1	ビジネスレター&メール(1)	演習	1
Unit 2 Presentation Skills Unit 3:Preparing for Your Presentation Unit 4: How to Arrange a Presentation Setting"	演習	1	ビジネスレター&メール(2)	演習	1
Unit 5 Type 1: Listing 列举型プレゼン テーション	演習	1	英文履歴書 & ジョブインタビュー	演習	1
Unit 6 Type 2: Classification 分類型プ レゼンテーション	演習	1	著名人のプレゼン	演習	1
Unit 8 Type 4: Investigation 調査型プレ ゼンテーション	演習	1	ファッション誌	演習	1
Unit 8 Type 4: Investigation 調査型プレ ゼンテーションの前半	演習	1	世界の諸問題	演習	1
Unit 8 Type 4: Investigation 調査型プレ ゼンテーションの後半	演習	1	店内ポップ & 企業スローガン		
Unit 9 Review Unit: Giving Your Presentation 報告型プレゼンテーションの準備 1	演習	1	電話応対	演習	1
Unit 9 Review Unit: Giving Your Presentation 報告型プレゼンテーションの実践 1	演習	1	セール告知 & クーポン券	演習	1
Unit 9 Review Unit: Giving Your Presentation 報告型プレゼンテーションの実践 2	演習	1	ホームページ & SNS	演習	1

【評価方法】 平常点（出席、クラス参加）20%、授業中の小テスト20%、ライティング10%、プレゼンテーション50%でS～C・F評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介

前期と後期で教員が交替する。今までの学びを総括するようなカリキュラムにしている。

主要教材図書 *Winning Presentations*（成美堂）、自作ハンドアウト

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 増田和香子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA4	科 名 ファッション高度専門士科 4 年	単 位	1
科目コード	科目名 特別講義 IV	授業期間	通年

担当教員(代表)：蔵野 亜矢子	共同担当者：内田智恵、喜屋武敏明
-----------------	------------------

教育目標・レベル設定など

4年生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究するため、各専門分野の方々との出会いを多くし物事に対する洞察力を養う。レギュラー授業には含まれない関連分野の専門知識を習得する。

授業概要

- 1、テキスタイルトレンド情報・・・・・・川上 淑子（2）
- 2、トレンド情報・・・・・・WWD・織研新聞社（2）
- 3、ファッションとカルチャー・・・・・・朝日 真（1）
- 4、デザイン発想・・・・・・田中 崇順・松本 志功（1）
- 5、起業ブランドの実務・・・・・・大澤 夏珠（1）
- 6、ラグジュアリーブランドの実務・・・・小寺澤 ミチル（1）
- 7、アクセサリーの知識・・・・・・大工原 睦（2）
- 8、素材の知識・・・・・・杉原 敦史氏（1）
- 9、映像制作・・・・・・井手内 創（3）
- 10、プロモーションの実務・・・・・・内藤 純子（1）

評価方法・対象・比重

講義出席参加による評価（100%）

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 各講師による資料

記載者書名欄 蔵野 亜矢子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科4年	単 位	2・2
科目コード 96621・2	科目名 インターンシップⅡa・b（自由選択）	授業期間	通年

担当教員（代表）： 藏野 亜矢子	共同担当者： 内田智恵、喜屋武敏明
------------------	-------------------

<p>教育目標・レベル設定</p> <p>将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。</p> <p>審査を受けて希望するデザイナーブランド企業・デザイン事務所・アパレルメーカー・テキスタイル企業・出版等関連企業も対象として実務体験をする。</p>
--

<p>授業概要</p> <p><u>授業では経験出来ない、企業やデザイナー、工場や現場での作業及び実務体験</u></p> <p>インターンシップⅡa ・ Ⅱb</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間（基本は2週間）、時期は研修目的、受け入れ先の状況により決める。 ・ 研修中は指導教員と定期的にミーティングを行い、受け入れ先での研修内容、進捗状況などを報告しアドバイスを受ける。
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>2単位分、もしくは4単位分の出欠及び、レポート提出でP評価</p>
--

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄 藏野 亜矢子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KA4	科 名 ファッション高度専門士科4年	単 位	8
科目コード	科目名 卒業研究・創作	授業期間	通年

担当教員(代表)： 藏野 亜矢子	共同担当者： 内田 智恵、喜屋武 敏明
------------------	---------------------

教育目標・レベル設定

4年生として既に習得してきたテクニックを更に追及する。さらなる自己の更なる可能性を発見し、各自のデザイン発想・オリジナリティを生かした表現でファッションクリエイションを考えプライベートコレクションに展開し制作する。
4年間の集大成とし卒業制作ショー・展示にて各自自由な発想で表現する。

授業概要

- ・コンセプト組み立て→企画→デザイン発想→パターンメイキング作品制作→スタイリング→ポートフォリオのまとめにいたるまで、個性を生かした表現と個別の目的に応じたテクニックの育成をする。
- ・既に習得したものをさらに追及し、より深く研究するとともに自己の可能性を発見し、プライベートコレクションとしてクリエイティブなデザイン発想をする。また、個性を生かした表現、ファッション性へのこだわりを考える。
コレクションは、作品制作6～10体を基準とする。
- ・企画、演出をはじめDM・ポスター・音響・照明・ヘアメイク・モデル・会場等トータルにまとめてショー及び展示として発表する。

評価方法・対象・比重

作品、ショー、展示による総合演出（90％） プレゼンテーション（10％）

主要教材図書 なし

参考図書

ファッション情報誌、WWD、各自テーマに基づいた参考図書 他

その他資料

コレクション映像

記載者書名欄 藏野 亜矢子